

地域の特性を活かした魅力ある圏域

浜田市定住自立圏 共生ビジョン



島根県 浜田市

目 次

第1章 定住自立圏共生ビジョンの基本的事項

1 定住自立圏及び市町村の名称

- (1) 定住自立圏の名称 1
- (2) 定住自立圏を形成する市町村 1
- (3) 定住自立圏の中心地域及び周辺地域 1

2 定住自立圏共生ビジョンの目的 1

3 定住自立圏共生ビジョンの計画期間 1

第2章 定住自立圏の概況と将来像

1 圏域の概況

- (1) 概況 2
 - ア 人口 3
 - イ 世帯数 5
 - ウ 土地利用 6
- (2) 分野別の概況
 - ア 医療・福祉 7
 - イ 教育 11
 - ウ 産業 12
 - エ 地域公共交通 21

2 定住自立圏の将来像 22

- (1) 圏域形成の方向性
- (2) 圏域の将来像
- (3) 圏域形成の展開

第3章 定住自立圏における具体的な取組

1 生活機能の強化に係る取組

- A 医療 23
- B 福祉 30
- C 教育 35
- D 産業振興 38

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

- A 地域公共交通 50
- B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備 52
- C 道路等の交通インフラの整備 53
- D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消 58
- E 地域内外の住民との交流・移住促進 60

3 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

- A 宣言中心市等における人材の育成 64

【資料編】

- 資料1 浜田市定住自立圏共生ビジョン事業一覧 67

- 資料2 浜田市定住自立圏形成方針 73

第1章 定住自立圏共生ビジョンの基本的事項

1 定住自立圏及び市町村の名称

(1) 定住自立圏の名称

浜田市定住自立圏（以下「圏域」という。）

(2) 定住自立圏を形成する市町村

浜田市（以下「本市」という。）

＜構成旧市町村＞ 旧浜田市（以下「浜田自治区」という。）
旧金城町（以下「金城自治区」という。）
旧旭町（以下「旭自治区」という。）
旧弥栄村（以下「弥栄自治区」という。）
旧三隅町（以下「三隅自治区」という。）

(3) 定住自立圏の中心地域及び周辺地域

浜田自治区を中心地域とし、金城・旭・弥栄・三隅自治区を周辺地域とする。

2 定住自立圏共生ビジョンの目的

浜田市定住自立圏共生ビジョン（以下「本ビジョン」という。）は、人口の定住に必要な都市機能及び生活機能の確保と充実を図るとともに、本市における各自治区が相互に役割や機能を分担することにより、魅力あふれる定住自立圏を形成するため、本圏域が目指す将来像及びその実現に向けて推進する具体的な取組を示すものである。

3 定住自立圏共生ビジョンの計画期間

本ビジョンの計画期間は、平成23年度から平成27年度までの5年間とする。

第2章 定住自立圏の概況と将来像

1 圏域の概況

(1) 概況

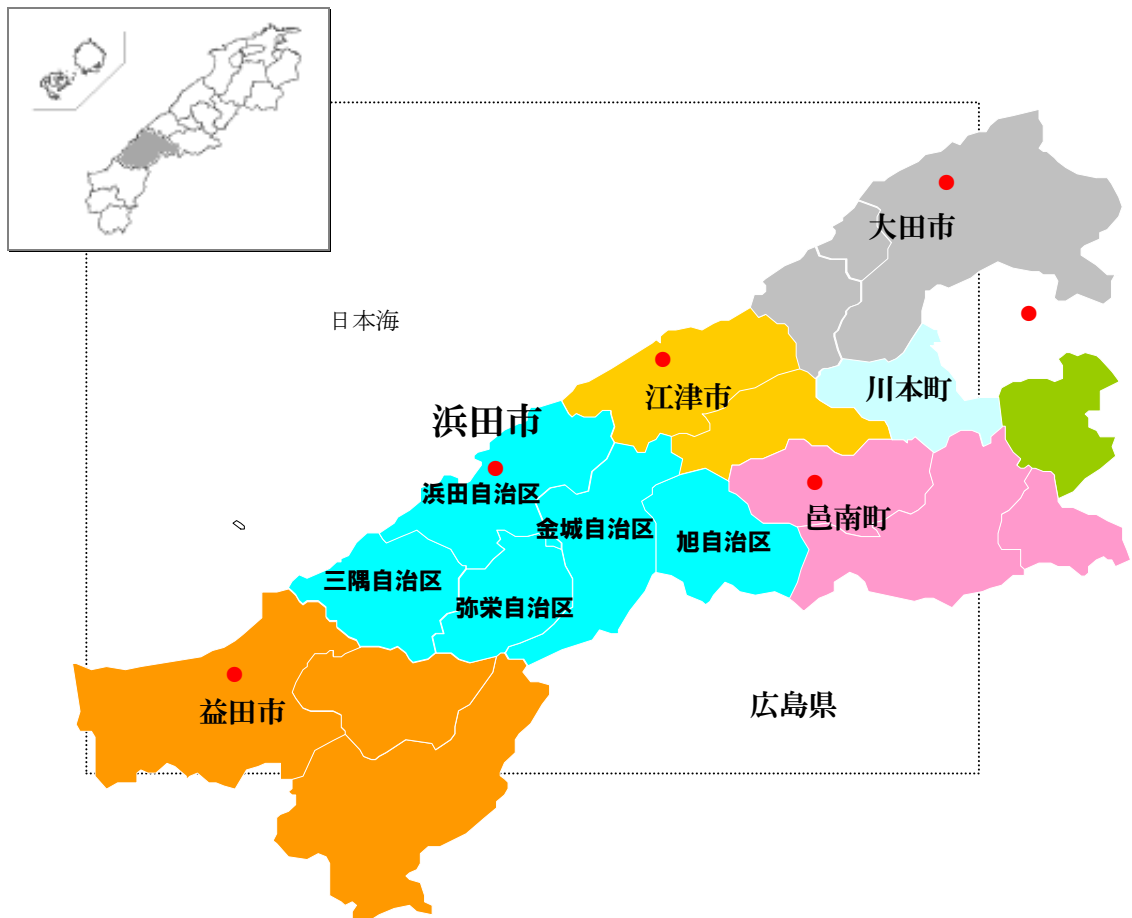
本市は、平成 17 年 10 月 1 日に旧浜田市、旧金城町、旧旭町、旧弥栄村及び旧三隅町の 1 市 3 町 1 村の合併に伴って「浜田那賀方式自治区制度」を導入し、5 つの地域（自治区）でひとつの圏域を成している。

本圏域は、島根県西部の中央に位置し、東部は江津市と邑南町に、西部は益田市に、南部は広島県に隣接し、北は日本海に面している。

総面積は 689.6 k m²で、島根県の約 1 割を占め、東西約 46.4 km、南北約 28.1 kmにわたる。

また、地形は丘陵地や山地が大部分を占め、平地に乏しく、中国山地が日本海にまで迫っている。切り立ったリアス式地形と砂丘海岸の織り成す海岸線は、優れた自然景観と天然の良港をもたらしている。

本圏域は、本市の合併前から経済圏や生活圏としての結びつきが強い地域であり、旧浜田市を中心として旧 5 市町村がそれぞれの地域性や社会的機能を活かしながら連携し、発展を遂げてきたところである。



ア 人口

<総人口>

総人口は減少傾向にある。

年齢3区分別では、年少人口（0歳～14歳）と生産年齢人口（15歳～64歳）は減少する一方で、老年人口（65歳以上）は増加しており、今後も少子高齢化の進行が予測される。

表 人口の推移

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減率 (平成2-17年)
総人口	69,411人	68,103人	65,463人	63,046人	▲ 9.2%
年少人口 (0歳～14歳)	12,444人 17.9%	10,793人 15.8%	9,206人 14.1%	8,053人 12.8%	▲ 35.3%
生産年齢人口 (15歳～64歳)	43,826人 63.1%	41,966人 61.6%	39,015人 59.6%	36,851人 58.5%	▲ 15.9%
老年人口 (65歳以上)	13,104人 18.9%	15,321人 22.5%	17,237人 26.3%	18,061人 28.6%	37.8%

[資料/国勢調査]

<自治区別人口>

すべての自治区において人口は減少しており、特に旭自治区における減少率は顕著である。

表 自治区別人口の推移

(人)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減率 (平成2-17年)
総人口	69,411	68,103	65,463	63,046	▲ 9.2%
浜田自治区	49,135	48,515	47,187	45,910	▲ 6.6%
金城自治区	5,666	5,508	5,216	4,976	▲ 12.2%
旭自治区	3,840	3,354	3,198	2,978	▲ 22.4%
弥栄自治区	1,869	1,845	1,789	1,612	▲ 13.8%
三隅自治区	8,901	8,881	8,073	7,570	▲ 15.0%

[資料/国勢調査]

<人口動態>

自然動態は、毎年減少している。

また、社会動態は、毎年減少しているが、その減少数は縮小する傾向にある。特徴として、転出者数は減少傾向にある。

表 人口動態の推移

(人)

区 分		平成17年10月1日～ 平成18年9月30日	平成18年10月1日～ 平成19年9月30日	平成19年10月1日～ 平成20年9月30日	平成20年10月1日～ 平成21年9月30日
人口増減数		▲ 862	▲ 768	▲ 715	▲ 455
自然動態	出生	473	457	440	421
	死亡	846	799	809	782
	増減	▲ 373	▲ 342	▲ 369	▲ 361
社会動態	転入	2,288	2,260	2,231	2,292
	転出	2,777	2,686	2,577	2,386
	増減	▲ 489	▲ 426	▲ 346	▲ 94

[資料／島根県人口流動調査]

<人口推計>

人口推計は、平成 22 年から平成 37 年までの間で 10,000 人以上が減少するものと見込まれる。

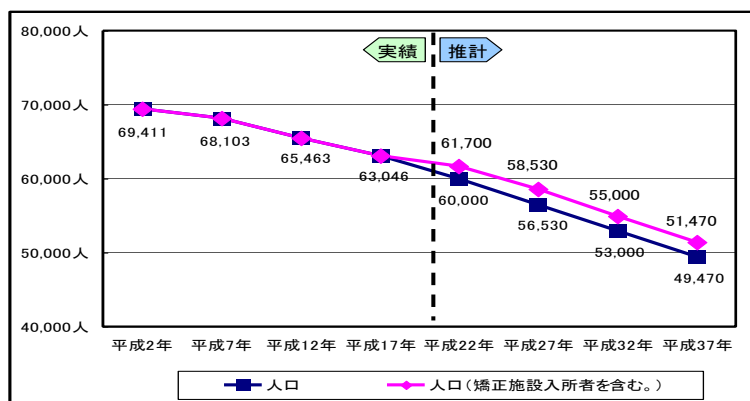
表 人口推計（矯正施設収容者を除く。）

(人)

区 分	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	増減数 (平成 2- 37 年)
総人口	60,000	56,530	53,000	49,470	▲ 10,530
浜田自治区	43,593	41,311	38,908	36,415	▲ 7,178
金城自治区	4,801	4,494	4,200	3,923	▲ 878
旭自治区	3,251	3,159	3,077	3,009	▲ 242
弥栄自治区	1,544	1,389	1,241	1,110	▲ 434
三隅自治区	6,811	6,177	5,574	5,013	▲ 1,798

[資料／浜田市推計値]

グラフ 人口の推移



(※平成 17 年までは国勢調査、平成 22 年以降は本市の推計による。)

イ 世帯数

<世帯数>

総世帯数は増加傾向にある。自治区別に見ると、浜田・金城・三隅自治区では増加傾向にあるが、旭・弥栄自治区では減少傾向にある。

表 世帯数の推移

(世帯)

区 分	平成 2 年	平成 7 年	平成 12 年	平成 17 年	増減数 (平成 2- 17 年)
総世帯数	23, 134	24, 328	24, 724	25, 023	1, 889
浜田自治区	16, 587	17, 441	18, 155	18, 554	1, 967
金城自治区	1, 659	1, 691	1, 663	1, 685	26
旭自治区	1, 385	1, 177	1, 170	1, 107	▲ 278
弥栄自治区	648	695	708	634	▲ 14
三隅自治区	2, 855	3, 324	3, 028	3, 043	188

[資料／国勢調査]

<世帯推計>

世帯推計は、平成 22 年から平成 37 年までの間で 2, 900 世帯が減少するものと見込まれる。

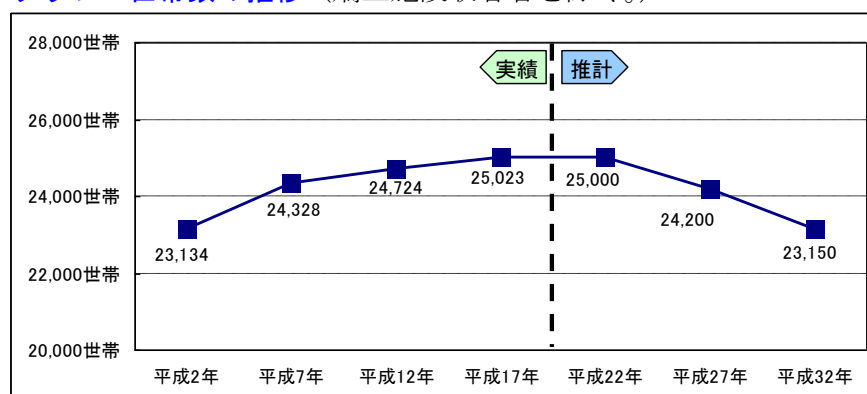
表 世帯数の推計 (矯正施設収容者を除く。)

(世帯)

区 分	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年	平成 37 年	増減数 (平成 22 年-37 年)
総世帯数	25, 000	24, 200	23, 150	22, 100	▲ 2, 900
浜田自治区	17, 775	17, 313	16, 647	15, 944	▲ 1, 831
金城自治区	2, 072	1, 994	1, 896	1, 801	▲ 271
旭自治区	1, 456	1, 434	1, 415	1, 408	▲ 48
弥栄自治区	712	664	612	562	▲ 150
三隅自治区	2, 985	2, 795	2, 580	2, 385	▲ 600

[資料／浜田市推計値]

グラフ 世帯数の推移 (矯正施設収容者を除く。)



(※平成 17 年までは国勢調査、平成 22 年以降は本市の推計による。)

ウ 土地利用

<面積>

自治区別の面積と構成比は、次のとおりである。

表 面積と構成比

区 分	面 積 (K m ²)	構成比 (%)
総 面 積	689.60	100.0
浜田自治区	162.68	23.6
金城自治区	164.30	23.8
旭自治区	128.57	18.6
弥栄自治区	105.50	15.3
三隅自治区	128.55	18.6

(※平成 19 年 6 月 20 日現在)

[資料／浜田市安全安心推進課]

<土地利用状況>

土地利用の状況は、次のとおりである。

表 土地利用の状況

区 分	面 積 (K m ²)	構成比 (%)
農用地	25.1	3.6
農地	25.0	3.6
採草放牧地	0.1	0.0
森 林	560.4	81.3
原 野	3.5	0.5
道 路	17.3	2.5
一般道路	13.8	2.0
農道	2.2	0.3
林道	1.3	0.2
宅 地	10.3	1.6
住宅地	6.6	1.0
工業用地	0.5	0.1
その他の宅地	3.3	0.5
その他	73.0	10.6
総 面 積	689.6	100.0

[資料／浜田市地域政策課]

(2) 分野別の概況

ア 医療・福祉

＜高度医療機能＞

高度医療機能は、浜田自治区に集積している。

表 医療機能の集積状況

機 能	施 設 名	所在自治区
専門的がん治療	浜田医療センター	浜田自治区
脳卒中救急医療	浜田医療センター	
心筋梗塞救急医療	浜田医療センター	
糖尿病急性合併症治療	浜田医療センター、西川病院、山根病院	
周産期※1 高度医療	浜田医療センター	
救命救急センター	浜田医療センター	
高度小児専門医療	浜田医療センター	

〔資料／島根県保健医療計画浜田圏域編〕

＜浜田市休日応急診療所、休日診療在宅当番医＞

浜田市休日応急診療所の患者数は、増加傾向にある。

また、休日診療在宅当番医（旧那賀郡）の患者数は、横ばいで推移している。

表 浜田市休日応急診療所患者数の推移 (人)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
患者総数	536	685	643	1,060
浜田自治区	428	542	500	841
金城自治区	22	35	36	52
旭自治区	7	16	16	24
弥栄自治区	11	14	5	14
三隅自治区	19	24	26	52
圏域外	49	54	60	77

〔資料／浜田市地域医療対策課〕

表 休日診療在宅当番医（旧那賀郡）患者数の推移 (人)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
患者総数	288	265	266	276
浜田自治区	7	1	2	8
金城自治区	37	42	29	45
旭自治区	15	15	3	6
弥栄自治区	29	22	21	25
三隅自治区	196	184	206	184
圏域外	4	1	5	8

〔資料／浜田市地域医療対策課〕

※1 「周産期」 妊娠 22 週から生後満 7 日未満までの期間。

＜子育て支援センター※2＞

1日当たりの平均利用者数は、約70人で推移している。

また、相談件数は増加傾向にあり、特に発育（体重等）や食事に関する相談件数が増加している。

表 子育て支援センター「すくすく」利用状況の推移

項 目	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
年間利用者数 (人)	20,852	19,499	19,456
総来所児童数 (人)	8,918	8,744	8,626
来所児童（年齢）			
0 歳	3,556	4,187	3,832
1 歳	2,433	1,732	1,948
2 歳	1,634	1,634	1,249
3 歳	590	448	496
4 歳	236	277	362
5 歳	270	106	155
小学生	95	117	109
運動会等参加児童	104	243	475
引率者数 (人)	7,687	7,492	7,101
健診受診者数 (人)	3,290	2,125	2,505
ボランティア他数 (人)	957	1,138	1,224
親子組数 (組)	7,484	7,171	6,736
年間開設日数 (日)	296	292	293
1日当たり平均利用者数 (人)	70	67	66
1日当たり来所児童数 (人)	30	30	29

〔資料／浜田市子育て支援課〕

表 相談件数の推移

(件)

相 談 内 容	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総相談件数	1,879	2,450	2,805
情緒（しつけ等）	90	86	102
遊び（おもちゃ等）	12	14	14
発育（体重等）	705	925	1,144
発達（言葉等）	59	86	98
食事	322	446	508
睡眠	42	49	71
体（アレルギー等）	112	175	193
排泄	28	37	40
制度や申請	86	115	94
検診・予防接種等	82	89	106
母親自身のこと	86	145	55
支援センターについて	138	136	231
おっぱい	88	118	95
その他	29	29	54

〔資料／浜田市子育て支援課〕

※2 「子育て支援センター」 子育てに関する相談、助言を行うセンター。

＜放課後児童クラブ※3＞

放課後児童クラブの入会児童数は、増加傾向にある。

表 クラブ数と入会児童数の推移

区 分		クラブ数 (か所)			入会児童数 (人)		
		総数	直営	委託	総数	直営	委託
平成 19 年度	総 計	16	10	6	468	354	114
	浜田自治区	10	9	1	365	339	26
	金城自治区	2	-	2	39	-	39
	旭自治区	1	-	1	10	-	10
	弥栄自治区	1	1	-	15	15	-
	三隅自治区	2	-	2	39	-	39
平成 20 年度	総 計	17	11	6	481	370	111
	浜田自治区	11	10	1	370	352	18
	金城自治区	2	-	2	33	-	33
	旭自治区	1	-	1	15	-	15
	弥栄自治区	1	1	-	18	18	-
	三隅自治区	2	-	2	45	-	45
平成 21 年度	総 計	18	12	6	537	419	118
	浜田自治区	12	11	1	425	401	24
	金城自治区	2	-	2	36	-	36
	旭自治区	1	-	1	14	-	14
	弥栄自治区	1	1	-	18	18	-
	三隅自治区	2	-	2	44	-	44
平成 22 年度	総 計	16	11	5	572	446	126
	浜田自治区	11	10	1	450	430	20
	金城自治区	1	-	1	37	-	37
	旭自治区	1	-	1	22	-	22
	弥栄自治区	1	1	-	16	16	-
	三隅自治区	2	-	2	47	-	47

(※数値は毎年 4 月 1 日現在)

〔資料／浜田市子育て支援課〕

※3 「放課後児童クラブ」 小学 1～3 年生の児童で、保護者が就労等により放課後家庭にいない児童を対象に生活の場を提供し、遊びや生活指導を通してその児童の健全育成を行う。

＜乳幼児等（1歳6か月・3歳児）健康診査＞

1歳6か月児、3歳児ともに90%以上の受診率で推移している。

表 健康診査の推移

区 分		平成19年度	平成20年度	平成21年度
1歳6か月児 健診	対象者（人）	440	473	436
	受診者（人）	429	440	417
	受診率（%）	97.5	93.0	95.6
3歳児健診	対象者（人）	507	405	451
	受診者（人）	487	396	428
	受診率（%）	96.1	97.8	94.9

〔資料／浜田市子育て支援課〕

＜高齢者人口＞

総人口は減少する一方で、高齢者人口は増加し、高齢化率が上昇している。

表 高齢者人口の推移

区 分	平成18年度末	平成19年度末	平成20年度末	平成21年度末
総人口（人）	62,045	61,189	60,636	60,180
高齢者人口（人）	18,275	18,379	18,489	18,534
高齢化率（%）	29.5	30.0	30.5	30.8

〔資料／住民基本台帳〕

＜要介護・要支援認定者数＞

総認定者数は、増加傾向にある。

表 要介護・要支援認定者数の推移 (人)

区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総認定者数	4,025	3,981	4,036	4,074
要支援1	818	551	466	426
要支援2	440	651	674	654
要介護1	873	539	466	522
要介護2	543	675	720	717
要介護3	416	521	578	623
要介護4	498	568	646	625
要介護5	437	476	486	507

（※平成18年度の「要支援1」には、経過的要介護を含む。）

〔資料／浜田地区広域行政組合介護保険課〕

イ 教育

<図書館>

市立図書館・図書室の総貸出し冊数は、平成 20 年度までは増加傾向にあるが、平成 21 年度は減少している。

表 図書館貸出し冊数の推移

(冊)

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
総貸出し冊数	101, 776	106, 695	122, 592	116, 158
浜田自治区	84, 355	85, 713	101, 321	93, 773
金城自治区	9, 252	11, 535	11, 711	11, 134
旭自治区	4, 800	5, 915	5, 942	7, 104
弥栄自治区	787	1, 295	1, 357	1, 379
三隅自治区	2, 582	2, 237	2, 261	2, 768

[資料／浜田市生涯学習課]

<移動図書館>

移動図書館※1（ラブック号）は、平成 19 年から運行を開始し、圏域を巡回している。

表 移動図書館利用状況の推移

区 分	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
貸出し延べ人数 (人)	1, 792	4, 078	3, 452
貸出し延べ冊数 (冊)	3, 946	8, 544	7, 442

(※平成 19 年度は 12 月 20 日から運行)

[資料／浜田市生涯学習課]

※1「移動図書館」 図書館を利用しにくい地域の人のために、移動図書館車により市内を巡回して図書館資料の貸出しを行うもの。

ウ 産業

<労働力状態>

労働力人口は、平成2年と平成17年を比較すると、就業者は4,233人（11.8%）減少し、完全失業者は593人（64.0%）増加している。

また、非労働力人口は1,448人（7.2%）増加している。

表 労働力状態の推移

（人）

区 分		平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
15歳以上人口総数※1		56,930	57,287	56,252	54,912
労働力人口※2		36,694	37,470	35,191	33,054
	浜田自治区	25,216	26,064	25,142	23,892
	金城自治区	3,353	3,301	3,112	2,850
	旭自治区	2,383	1,982	1,795	1,667
	弥栄自治区	1,147	1,164	1,056	895
	三隅自治区	4,595	4,959	4,086	3,750
就業者 (主に仕事、家事のほか仕事、通学のかたわら仕事、休業者)		35,767	36,447	34,046	31,534
	浜田自治区	24,464	25,211	24,233	22,672
	金城自治区	3,309	3,261	3,062	2,769
	旭自治区	2,365	1,966	1,766	1,627
	弥栄自治区	1,134	1,154	1,040	870
	三隅自治区	4,495	4,855	3,945	3,596
完全失業者		927	1,023	1,145	1,520
	浜田自治区	752	853	909	1,220
	金城自治区	44	40	50	81
	旭自治区	18	16	29	40
	弥栄自治区	13	10	16	25
	三隅自治区	100	104	141	154
非労働力人口 (家事、通学、その他)		20,192	19,708	20,883	21,640
	浜田自治区	14,769	14,356	14,930	15,569
	金城自治区	1,262	1,323	1,397	1,532
	旭自治区	910	939	1,040	1,037
	弥栄自治区	476	441	526	531
	三隅自治区	2,775	2,649	2,990	2,971

〔資料／国勢調査〕

※1 「15歳以上人口総数」 労働力人口と非労働力人口を合わせたもので労働力状態が不詳を含む。

※2 「労働力人口」 就業者と完全失業者を合わせたもので分類不能の産業を含む。

＜産業別就業人口・割合＞

第1次・第2次産業の就業人口・割合は、減少傾向にある一方で、第3次産業の就業人口・割合は、増加傾向にある。

表 第1次産業※3 就業人口の推移 (人)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
総 計	4,795	4,326	3,360	2,973	▲ 1,822
浜田自治区	2,116	1,850	1,340	1,137	▲ 979
金城自治区	878	808	736	630	▲ 248
旭自治区	676	599	494	490	▲ 186
弥栄自治区	403	424	349	308	▲ 95
三隅自治区	722	645	441	408	▲ 314

表 第2次産業※4 就業人口の推移 (人)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
総 計	11,473	11,167	9,483	7,508	▲ 3,965
浜田自治区	7,143	7,184	6,443	5,293	▲ 1,850
金城自治区	1,161	1,010	909	722	▲ 439
旭自治区	916	544	472	294	▲ 622
弥栄自治区	335	312	288	145	▲ 190
三隅自治区	1,918	2,117	1,371	1,054	▲ 864

表 第3次産業※5 就業人口の推移 (人)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
総 計	19,479	20,915	21,093	20,968	1,489
浜田自治区	15,185	16,140	16,340	16,159	974
金城自治区	1,270	1,442	1,417	1,417	147
旭自治区	773	823	800	842	69
弥栄自治区	396	418	403	417	21
三隅自治区	1,855	2,092	2,133	2,133	278

[資料／国勢調査]

※3 「第1次産業」 「農業」、「林業」、「漁業」。

※4 「第2次産業」 「鉱業」、「建設業」、「製造業」。

※5 「第3次産業」 第1次・第2次産業以外の産業。

表 第1次産業就業者人口割合の推移

(%)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
人口割合	13.4	11.9	9.9	9.5	▲ 3.9
浜田自治区	8.7	7.3	5.6	5.0	▲ 3.7
金城自治区	26.5	24.8	24.0	22.8	▲ 3.7
旭自治区	28.6	30.5	28.0	30.1	1.5
弥栄自治区	35.5	36.7	33.6	35.4	▲ 0.1
三隅自治区	16.1	13.3	11.2	11.3	▲ 4.8

表 第2次産業就業者人口割合の推移

(%)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
人口割合	32.1	30.7	27.9	23.9	▲ 8.2
浜田自治区	29.2	28.5	26.7	23.4	▲ 5.8
金城自治区	35.1	31.0	29.7	26.1	▲ 9.0
旭自治区	38.7	27.7	26.7	18.1	▲ 20.6
弥栄自治区	29.5	27.0	27.7	16.7	▲ 12.8
三隅自治区	42.7	43.6	34.8	29.3	▲ 13.4

表 第3次産業就業者人口割合の推移

(%)

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	増減数 (平成2年-17年)
人口割合	54.5	57.4	62.2	66.7	12.2
浜田自治区	62.1	64.1	67.7	71.5	9.4
金城自治区	38.4	44.2	46.3	51.2	12.8
旭自治区	32.7	41.9	45.3	51.8	19.1
弥栄自治区	34.9	36.2	38.8	47.9	13.0
三隅自治区	41.3	43.1	54.1	59.3	18.0

〔資料／国勢調査〕

<総農家数>

総農家数と販売農家数は、減少している。

表 総農家数の推移

(戸)

年月日	区 分	総農家数						
			販売農家数					自給的 農家数
				専業 農家	兼業 農家	第1種 兼業農家	第2種 兼業農家	
平成 12 年 2 月 1 日	総農家数	3,650	2,405	454	1,951	171	1,780	1,245
	浜田自治区	1,083	489	77	412	27	385	594
	金城自治区	858	709	103	606	47	559	149
	旭自治区	657	525	132	393	50	343	132
	弥栄自治区	367	291	57	234	30	204	76
	三隅自治区	685	391	85	306	17	289	294
平成 17 年 2 月 1 日	総農家数	3,293	1,943	471	1,472	172	1,300	1,350
	浜田自治区	989	413	93	320	32	288	576
	金城自治区	786	593	118	475	37	438	193
	旭自治区	600	418	127	291	43	248	182
	弥栄自治区	320	235	51	184	39	145	85
	三隅自治区	598	284	82	202	21	181	314

[資料／農林業センサス]

<農業就業人口（販売農家）>

販売農家における15歳以上農業就業人口は、すべての自治区で減少している。

表 農業就業人口（販売農家）の推移

(人)

年月日	区 分	15歳以上農業就業人口（販売農家）			
		総計	主に自営農業に従事した世帯員数		
			総 数	男	女
平成 12 年 2 月 1 日	農業就業人口	7,859	3,163	1,346	1,817
	浜田自治区	1,753	687	298	389
	金城自治区	2,422	914	380	534
	旭自治区	1,553	665	292	373
	弥栄自治区	885	379	170	209
	三隅自治区	1,246	518	206	312
平成 17 年 2 月 1 日	農業就業人口	6,181	2,648	1,204	1,444
	浜田自治区	1,424	590	256	334
	金城自治区	1,953	784	349	435
	旭自治区	1,237	581	269	312
	弥栄自治区	681	300	148	152
	三隅自治区	886	393	182	211

[資料／農林業センサス]

<経営耕地面積（販売農家）>

経営耕地面積は、すべての自治区で減少している。

表 経営耕地面積（販売農家）の推移

(ha)

年月日	区 分	総面積	田	畑	樹園地
平成 12 年 2 月 1 日	経営耕地面積	1,818	1,552	143	125
	浜田自治区	314	218	48	49
	金城自治区	557	510	29	18
	旭自治区	393	356	21	17
	弥栄自治区	284	263	20	1
	三隅自治区	270	205	25	40
平成 17 年 2 月 1 日	経営耕地面積	1,501	1,314	105	83
	浜田自治区	269	198	38	33
	金城自治区	482	452	21	9
	旭自治区	317	289	18	11
	弥栄自治区	239	223	14	2
	三隅自治区	194	152	14	28

〔資料／農林業センサス〕

<漁港・港湾>

漁港・港湾は、浜田・三隅自治区に存在する。

表 漁港・港湾の状況

区 分	名 称	所在自治区
漁 港	第1種漁港※6 折居漁港	浜田自治区
	第1種漁港津摩漁港	
	第2種漁港※7 唐鐘漁港	
	特定第3種漁港※8 浜田漁港	
	第1種漁港今浦漁港	三隅自治区
	第1種漁港福浦漁港	
	第1種漁港古湊漁港	
	第2種漁港須津漁港	
港 湾	重要港湾※9 浜田港	浜田自治区
	生湯港	
	重要港湾三隅港	三隅自治区
	吉浦港	

〔資料／浜田市水産課、維持管理課〕

※6 「第1種漁港」 利用範囲が地元の漁業を主とする漁港。

※7 「第2種漁港」 利用範囲が第1種漁港よりも広く、第3種漁港に属しない漁港。

※8 「特定第3種漁港」 利用範囲が全国的で、水産業の振興上特に重要な漁港。

※9 「重要港湾」 国際海上輸送網または国内海上輸送網の拠点となる港湾その他の国の利害に重大な関係を有する港湾。

<水揚高>

水揚量は、おおむね横ばいとなっている。

水揚金額は、平成 19 年には約 70 億円まで回復したが、平成 21 年はデフレ不況による魚価の低迷により減少している。

表 水揚量、水揚金額の推移

区 分	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
水揚量 (t)	24,455	23,935	23,109	24,095
水揚金額 (千円)	6,541,620	7,067,667	6,952,656	5,856,010

〔資料／浜田市水産業振興協会〕

<魚種別漁獲量>

漁獲量総数は、おおむね横ばいにあるが、魚種別の漁獲量は年によってばらつきがある。

表 魚種別漁獲量の推移

(t)

区 分	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
漁 獲 量	24,455	23,935	23,109	24,095
いとし類	701	577	2,827	375
あじ	7,925	6,174	6,966	7,795
さば	5,369	6,111	3,790	6,252
ひらめ、かれい	1,398	1,854	1,732	1,462
ふぐ	209	97	410	170
たい類	346	386	226	274
ほうぼう、かながしら	41	70	70	50
あかむつ	240	149	221	255
ぶり類	2,690	1,984	1,521	2,436
するめいか	1,270	2,150	1,484	450
その他のいか	694	783	983	1,223
貝類	75	66	60	59
藻類	47	15	15	17
その他	3,450	3,519	2,804	3,277

〔資料／浜田市水産業振興協会〕

＜漁業就業者数＞

漁業就業者数は、平成 5 年から平成 20 年までの間で 446 人減少（55.5%減）している。

また、平成 20 年における 65 歳以上の漁業就業者の割合は、40.8%を占めている。

表 漁業就業者数の推移

(人)

年齢区分	平成 5 年	平成 10 年	平成 15 年	平成 20 年
総漁業就業者数	811	575	440	365
15～19 歳	1	1	2	5
20～24 歳	9	5	7	5
25～29 歳	17	9	11	13
30～34 歳	11	13	7	8
35～39 歳	32	9	13	7
40～44 歳	57	25	13	13
45～49 歳	96	54	27	18
50～54 歳	145	83	46	38
55～59 歳	182	106	72	52
60～64 歳	129	125	72	57
65 歳以上	132	145	170	149

[資料／漁業センサス]

＜製造業事業所数、従業者数＞

事業所数は、おおむね横ばいにあるが、従業者数は減少傾向にある。

表 製造業事業所数、従業者数の推移

区 分	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
事業所数 (所)	159	159	161
従業者数 (人)	3,736	3,739	3,379

[資料／工業統計調査]

<商業事業所数、従業者数、商品販売額>

事業所数、従業者数、年間商品販売額のいずれも減少している。

表 商業事業所数、従業者数、商品販売額の推移

区 分	平成 16 年	平成 19 年
事業所数 (事業所)	1, 159	1, 035
従業者数 (人)	6, 073	5, 741
年間商品販売額 (百万円)	149, 498	130, 470

[資料／商業統計調査]

<事業所数、従業者数>

事業所数、従業者数ともに、平成 3 年と平成 18 年を比較するとすべての自治区で減少している。

また、事業所数、従業者数ともに浜田自治区が 7 割以上を占めている。

表 事業所数の推移

(事業所)

区 分	平成 3 年	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	割合
総 計	4, 760	4, 488	4, 249	3, 925	100. 0%
浜田自治区	3, 528	3, 286	3, 070	2, 846	72. 5%
金城自治区	371	383	388	325	8. 3%
旭自治区	246	226	210	202	5. 1%
弥栄自治区	159	134	145	128	3. 3%
三隅自治区	456	459	436	424	10. 8%

[資料／事業所・企業統計調査]

表 従業者数の推移

(人)

区 分	平成 3 年	平成 8 年	平成 13 年	平成 18 年	割合
総 計	33, 155	33, 653	31, 484	29, 197	100. 0%
浜田自治区	25, 781	26, 375	24, 350	22, 748	77. 9%
金城自治区	2, 331	2, 413	2, 318	2, 100	7. 2%
旭自治区	1, 360	1, 214	1, 165	1, 008	3. 5%
弥栄自治区	740	616	811	543	1. 9%
三隅自治区	2, 943	3, 035	2, 840	2, 798	9. 6%

[資料／事業所・企業統計調査]

<観光施設>

圏域の主な観光施設や観光名所は、次のとおりである。

所在自治区	名 称
浜田自治区	しまね海洋館アクアス
	石見海浜公園
	石見畳ヶ浦
	しまねお魚センター
	世界こども美術館創作活動館
	浜田城跡
	石見安達美術館
	サン・ビレッジ浜田（アイススケート場・多目的広場）
	浜田ゴルフリンクス（ゴルフ場）
	浜田ゴルフ&カントリーリゾート（ゴルフ場）
金城自治区	かなぎウエスタンライディングパーク
	美又温泉
	リフレパークきんたの里
	湯屋温泉
	波佐小国温泉ほたる湯館
	金城カントリークラブ（ゴルフ場）
旭自治区	アサヒテングストーン
	旭温泉
	都川の棚田
弥栄自治区	ふるさと体験村
三隅自治区	石正美術館
	石州和紙会館
	コワ温泉
	室谷の棚田

〔資料／浜田市観光振興課〕

<観光客数>

観光入込客は、平成 20 年までは増加傾向にあるが、平成 21 年は減少している。
また、宿泊客は、減少傾向にある。

表 観光客数の推移

(人)

区 分	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年
観光入込客	1, 738, 921	1, 889, 040	1, 930, 264	1, 759, 569
宿泊客	140, 408	134, 639	132, 900	111, 067

〔資料／島根県観光動態調査〕

エ 地域公共交通

<民間事業者の生活路線バス>

民間事業者による生活路線バスの輸送人員は、減少傾向にあり、平成 20 年 10 月からの 1 年間においては 100 万人を切っている。

表 輸送人員の推移（補助金対象路線）

区 分	平成 17 年 10 月～ 平成 18 年 9 月	平成 18 年 10 月～ 平成 19 年 9 月	平成 19 年 10 月～ 平成 20 年 9 月	平成 20 年 10 月～ 平成 21 年 9 月
輸送人員（人）	1, 182, 200	1, 168, 225	1, 148, 920	988, 698
路線数（路線）	13	13	13	13

〔資料／浜田市定住対策課〕

<市営生活路線バス>

市営生活路線バスの年間利用者の合計は、増加傾向にある。

表 市営生活路線バスの年間利用者数の推移（人）

区 分	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
合 計	40, 834	41, 816	40, 913	42, 979
三隅路線	36, 478	38, 315	36, 565	36, 899
旭路線	4, 356	3, 501	4, 348	6, 080

〔資料／浜田市定住対策課〕

<新交通システム>

新交通システム（デマンドタクシー、自治会輸送）は、次のとおり運行しており、利用状況は、運行区域の拡大に伴って利用人数、運行便数ともに増加している。

表 運行状況

自治区	名 称	運行区域	運行開始年月
浜田自治区	どんちっちタクシー	三階・長見地区	平成 20 年 5 月
		美川地区	平成 20 年 5 月
	自治会輸送	羽原地区	平成 21 年 11 月
金城自治区	かなぎふれあい号	金城地区	平成 21 年 10 月
旭自治区	さんさん号	旭地区	平成 21 年 10 月
弥栄自治区	やうね号	弥栄地区	平成 20 年 10 月

〔資料／浜田市定住対策課〕

表 利用状況の推移

区 分	平成 20 年度	平成 21 年度
利用人数（人）	3, 345	6, 825
運行便数（便）	1, 287	2, 315
運行区域数（地区）	3	6

〔資料／浜田市定住対策課〕

2 定住自立圏の将来像

(1) 圏域形成の方向性

本圏域は、古くから海と山の恵により栄え、広域交通網、都市基盤、生活基盤、自然環境が調和した島根県西部の中核都市として発展してきたところであるが、今後、更なる人口減少や少子高齢化の進行が予測されるため、圏域の人口減少を抑制することが最重要課題である。

このため、圏域からの人口流出を抑制する一方で、都市圏からの人口流入を促進する取組を進めることが必要であり、圏域住民が誇りを持って安心して暮らすことができる魅力的な圏域の創造に向けた取組を推進する。

(2) 圏域の将来像

圏域の各自治区が相互に役割や機能を分担し、「定住」のための都市機能及び生活機能を確保するとともに、「自立」のための経済基盤の整備を行い、魅力あふれる圏域の形成を目指した取組を進めるため、圏域の将来像を「地域の特性を活かした魅力ある圏域」とする。

(3) 圏域形成の展開

圏域では、地域医療ネットワーク、子育て支援環境、地域公共交通等の生活基盤を充実した「安全で安心な生活環境の確保」に向けた取組を展開するとともに、地域資源を活かした観光振興による交流人口の拡大による「魅力あふれる都市機能の充実」に向けた取組を展開する。

具体的には、「生活機能の強化に係る取組」、「結びつきやネットワークの強化に係る取組」、「圏域マネジメント能力の強化に係る取組」の3つの取組により施策を展開することとする。

<将来像> 地域の特性を活かした魅力ある圏域

(1) 生活機能の強化に係る取組

医療

福祉

教育

産業振興

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る取組

地域公共交通

デジタル・ディバイドの解消に向けたICT インフラ整備

道路等の交通インフラの整備

地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

地域内外の住民との交流・移住促進

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

宣言中心市等における人材の育成

第3章 定住自立圏における具体的な取組

1 生活機能の強化に係る取組

A 医療

ア 医師・医療従事者の確保

〔現状と課題〕

- 新医師臨床研修制度※₁の導入に伴う医師の地域偏在等から、中核病院における特定診療科の常勤医師の不在、不足が見られるとともに、圏域外の中核病院の医療従事者※₂不足のため、浜田医療センターへの患者が増加している。
- 医師の専門医志向の高まり、医師会員の高齢化等による一次医療体制等の弱体化が懸念されている。

〔具体的な取組〕

- 中山間地域包括ケア研修センター※₃を中心にした国民健康保険診療所で実施している研修医等の受入れ体制を充実し、医師会や中核病院と連携した人材の育成と確保を図るとともに、住民への地域医療に対する意識啓発を行う。
- 圏域外の地域医療に関心のある医師や地元出身の学生に情報提供を行い、人材の招へいに努める。
- 看護師の養成や復職に対する支援を行うとともに、現場で求められる知識や技能の習得を支援する。
- 医療従事者養成施設への支援を行い、地域医療を担う人材の育成を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	地域医療連携事業 (人材育成施設の整備維持)			実施自治区	全自治区	
事業概要	中山間地域包括ケア研修センターを中心にした国民健康保険診療所で実施している研修医・看護学生等の研修機能と受入れ体制の充実を図る。					
見込まれる効果	将来の地域医療を担う人材の育成と確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 研修教材等の整備、研修医宿舍の維持等を行い、受入れ体制を整備する。 【周辺自治区】 研修医等への生活支援等を行うとともに、当事業に関する情報を住民へ周知する。					

※₁ 「医師臨床研修制度」 診療に従事しようとする医師が、2年以上の臨床研修を受ける制度。

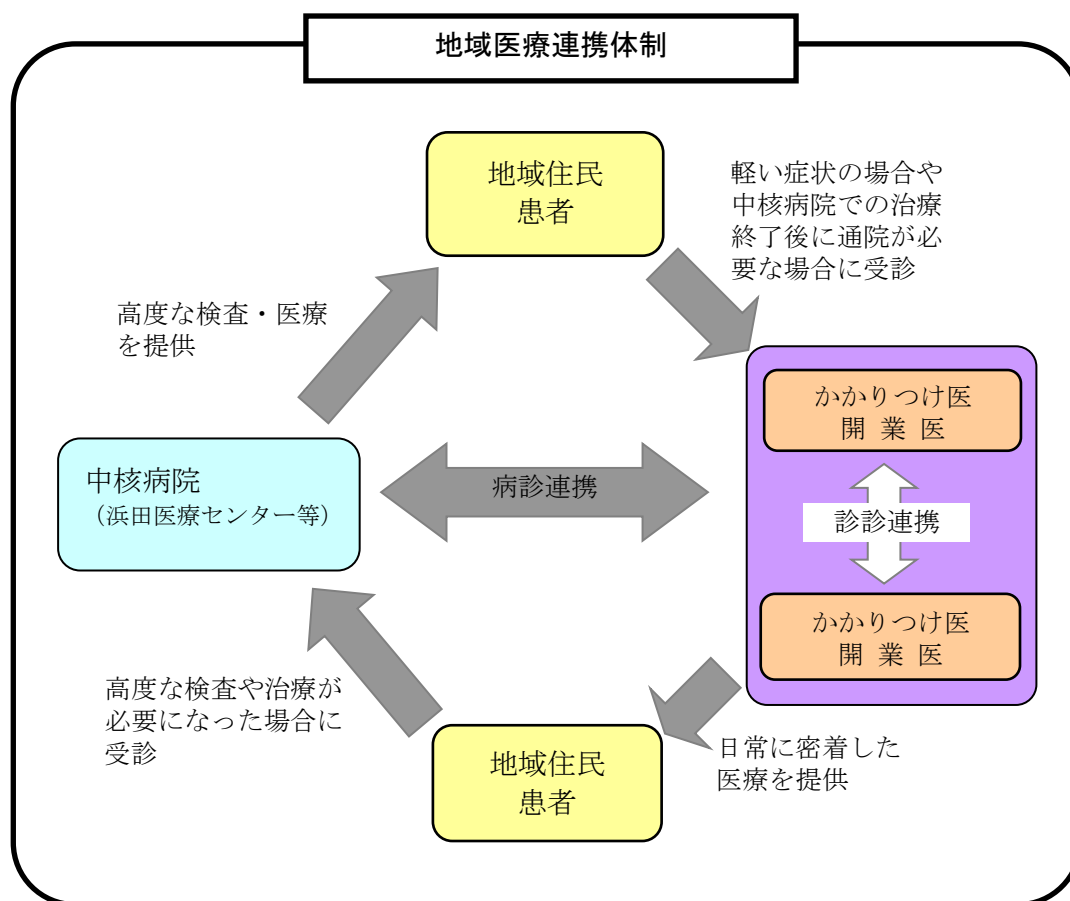
※₂ 「医療従事者」 医師、薬剤師、看護師、助産師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等、医療機関や福祉施設等に従事する様々な国家資格を持つ専門職。

※₃ 「中山間地域包括ケア研修センター」 各機関と連携し、医師のみならず、看護師の育成、確保という先進的な取組を展開するセンター。

主要事業②

事業名	地域医療連携事業 (医療に関する啓発活動)			実施自治区	全自治区	
事業概要	タウンミーティング※4や地域医療シンポジウム※5等の開催、啓発チラシの作成、配布等により、医療に関する啓発活動を行う。					
見込まれる効果	適正な医療機関の利用により、医療従事者の負担軽減と流出を防止するとともに、一次・高次医療機能の維持が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	200	200	200	200	200	1,000
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 医師会や中核病院との連携や医療に関する住民理解を深めるための啓発活動を行う。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民へ周知する。					

【地域医療連携体制図】



※4「タウンミーティング」 地域住民を集めて実施する対話集会。

※5「シンポジウム」 集団討議の形式の一つ。一般には一つの問題をテーマに、異なる意見をもつ数人の報告者が意見を発表し、参加者全員によって討論を行う。

主要事業③

事業名	医療情報等の配信			実施自治区	全自治区	
事業概要	医療従事者を確保するため、「赤ひげメール※6」、「ホームページ」、「ウェブログ※7」により、圏域の地域医療等の情報提供を行う。					
見込まれる効果	地元出身の医師・医学生をはじめ、多くの医療従事者等に圏域の医療に関心を持ってもらうことにより、医療従事者の確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	0	0	0	0	0	0
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の各種情報を集約し、医師・医学生等に配信する。 【周辺自治区】 医療情報を収集し、浜田自治区へ提供する。					

主要事業④

事業名	医学生・看護学生との交流			実施自治区	全自治区	
事業概要	新規医学部入学生の激励会、地元出身医学生・看護学生等との交流会等を実施する。					
見込まれる効果	地域医療を担う人材の育成と確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	50	50	50	50	50	250
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 大学、看護学校、准看護学校、高校と連携し、交流会等を企画、実施する。 【周辺自治区】 医療情報を収集し、浜田自治区へ提供する。					

主要事業⑤

事業名	スキルアップ・ラボ事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域で復職を希望する看護師や新任看護師等への実技指導、再就職支援相談等を浜田医療センターへ委託して行う。					
見込まれる効果	看護師不足の解消と看護師のスキルアップ※8が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 研修内容の充実に取り組むとともに、当事業を住民へ周知し、利用を促進する。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民へ周知する。					

※6「赤ひげメール」 登録者（医師や医学生等）に圏域の医療情報を配信するメール。

※7「ウェブログ」 個人や数人のグループで運営され、日々更新される日記的な Web サイトの総称。略してブログと言われる。

※8「スキルアップ」 訓練して技能を身に付けること。

主要事業⑥

事業名	浜田准看護学生支援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	浜田准看護学生への奨学金支給と実習費の補助を行う。					
見込まれる効果	看護師の人材確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	14,500
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 浜田准看護学校と情報を共有し、学生への各種支援に取り組む。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民へ周知する。					

主要事業⑦

事業名	リハビリテーションカレッジ島根 支援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	リハビリテーションカレッジ島根修学に対する資金貸付けと入学金を助成し、入学者の増加を図る。					
見込まれる 効果	療法士の人材確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	12,000	16,000	16,000	16,000	0	60,000
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田・三隅自治区】 学校と情報を共有し、学生確保のための支援を行う。 【その他の自治区】 当事業に関する情報を住民へ周知する。					

主要事業⑧

事業名	医学生・研修医等の受入れ			実施自治区	全自治区	
事業概要	医師会、中核病院、国民健康保険診療所で、医学生・研修医等の受入れを行う。					
見込まれる効果	医学生や研修医等が地域医療に対する理解を深めることができ、将来の地域医療を担う人材の育成と確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	0	0	0	0	0	0
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 大学等と受入れ医療機関の調整を行うとともに、当事業に関する情報を住民へ周知する。 【周辺自治区】 医学生、研修医、看護学生、中学生、高校生等の受入れを行うとともに、当事業に関する情報を住民へ周知する。					

イ 地域医療ネットワークの充実

〔現状と課題〕

- 中山間地域を中心に無医地区※1が点在しており、小児科、眼科、産婦人科等の専門医療を受診できる施設が浜田自治区に集中している。
- 中核病院に軽症患者や時間外における患者が集中しており、勤務医等の疲弊や入院中の重症患者への影響等が懸念されている。

〔具体的な取組〕

- 医師会、浜田医療センター、国民健康保険診療所の連携を強化し、専門医療を身近で受診できる地域医療ネットワークの充実を図るとともに、圏域における完結率の向上に努める。
- 浜田医療センターや周辺の病院・診療所が最適な医療サービスを提供できるように、「かかりつけ医」と「中核病院」等の連携に関する住民啓発を行う。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	地域医療連携事業 (地域医療ネットワーク)			実施自治区	全自治区	
事業概要	医師会、浜田医療センター、国民健康保険診療所の医師が相互に連携した紹介体制を構築し、圏域に不足している専門診療を補完する。					
見込まれる効果	中山間地域における小児科、眼科の専門診療が受診できるとともに、圏域における受診から治療完了までの完結率の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	360	360	360	360	360	1,800
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各医療機関との医療連携等の調整を行う。 【周辺自治区】 中核病院等への円滑な紹介体制を構築するとともに、情報を住民へ提供する。					

主要事業②

事業名	地域医療連携事業【再掲】 (医療に関する啓発活動)			実施自治区	全自治区	
事業概要	タウンミーティングや地域医療シンポジウム等の開催、啓発チラシの作成、配布等により、医療に関する啓発活動を行う。					
見込まれる効果	適正な医療機関の利用による医師等、医療従事者の負担軽減と流出を防止するとともに、一次・高次医療機能の維持が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	200	200	200	200	200	1,000
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 医師会や中核病院との連携や医療に関する住民理解を深めるための啓発活動を行う。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民へ周知する。					

※1「無医地区」 医療機関のない地域で、当該地域の中心的な場所を起点として概ね半径4kmの区域内に人口50人以上が居住している地域であって、かつ、容易に医療機関を利用できない地区。

ウ 救急医療体制の充実

〔現状と課題〕

- 休日に入院等を要しない救急患者が、浜田医療センターに集中している。
- 市町村合併、浜田医療センターの時間外選定療養費の徴収等の要因により、休日応急診療所の患者が増加している。

〔具体的な取組〕

- 民間医療機関や国民健康保険診療所、中核病院のそれぞれが担う一次と高次の救急医療が有効に機能するように、休日応急診療所の運営体制のあり方を含めた機能強化を進める。
- 周辺自治区の民間医療機関と国民健康保険診療所が実施している休日在宅当番医制度を継続して実施する。
- 休日における新たな初期医療体制を構築する。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	休日応急診療所の機能強化			実施自治区	全自治区	
事業概要	医療機器を整備する等の医療体制と機能の強化を図る。					
見込まれる効果	休日に良質な医療サービスが提供できるとともに、浜田医療センターへの救急患者の集中緩和が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	5,584	3,000	3,000	3,000	3,000	17,584
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 休日応急診療所の機能強化を実施するとともに、当事業に関する情報を住民に周知する。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民に周知する。					

主要事業②

事業名	休日診療在宅当番医制度		実施自治区	全自治区		
事業概要	休日診療体制を確保するため、那賀郡医師会に委託し、在宅当番医による初期救急医療サービスを提供する。					
見込まれる効果	周辺自治区において、安定的な休日の初期救急医療サービスの確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2, 750	2, 750	2, 750	2, 750	2, 750	13, 750
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 那賀郡医師会との連絡や当事業運営の調整を行うとともに、当事業に関する情報を住民に周知する。 【周辺自治区】 当事業を実施するとともに、情報を住民に周知する。					

エ ヘき地医療確保体制の充実

〔現状と課題〕

- 中山間地域における民間医療機関の医師の高齢化や後継者不足による無医地区の拡大が懸念されているため、更なる医療体制の充実が必要である。
- 国民健康保険診療所の医療機器は老朽化しているため、診療に支障をきたしている。

〔具体的な取組〕

- 民間医療機関と国民健康保険診療所で現在のへき地医療診療体制を維持するため、土曜日診療や小児科等の専門診療等の提供を継続する。
- 国民健康保険診療所の医療機器を計画的に更新し、医療・検査機能の維持と充実を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	中山間地域の医療連携			実施自治区	全自治区	
事業概要	民間医療機関と国民健康保険診療所が安定した初期医療サービスを提供するため、国民健康保険診療所の医師が各診療所へ交替で勤務するとともに、浜田医療センター総合診療科の外来の一部を担当する。					
見込まれる効果	土曜日診療と安定した医療サービスの提供が継続でき、医師のスキルアップや浜田医療センターとの医療連携体制の構築が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	0	0	0	0	0	0
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 定期的な連合体の会議により、各自治区の現状に合った医療提供体制を整える。 【周辺自治区】 民間医療機関と国民健康保険診療所が連携し、安定した医療の提供を行う。					

主要事業②

事業名	医療用機器の計画的更新と活用			実施自治区	浜田自治区、金城自治区、旭自治区、弥栄自治区	
事業概要	国民健康保険診療所の医療機器を計画的に更新する。					
見込まれる効果	圏域における国民健康保険診療所のバランスを考慮した医療機器の計画的な更新により、安定的な医療サービスの提供が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	6, 028	17, 000	10, 265	16, 778	40, 561	90, 632
国県補助事業の 名称、補助率等	へき地診療所設備等整備費補助金（補助率 1／2）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各診療所医療機器の現状や活用状況を分析し、更新計画を作成する。 【金城・旭・弥栄自治区】 医療機器の現状や活用状況を浜田自治区に情報提供するとともに、診療所間の連携による医療機器の効率的な活用を行い、安定的な医療サービスを提供する。					

B 福祉

ア 子育て支援環境の整備

〔現状と課題〕

- 子どもや子育て家庭を取り巻く環境は、少子化や核家族化、晩婚化、未婚化の進行に加え、地域の連帯意識の希薄化、女性就労者の増加や就労形態の変化、保育需要の多様化等の様々な要因により大きく変化している。
- すべての子どもが健やかに心豊かに育つためには、地域全体での子育て、仕事と生活の調和の実現、安全で安心なまちづくりの推進等、様々なニーズに対応した支援が必要である。

〔具体的な取組〕

- 地域全体で子どもを育てる意識を醸成し、社会や家庭環境の変化に対応した子育て支援サービスの充実と、家庭、地域、行政が一体となった子育て支援体制の構築を図る。
- 健やかに産み育てる環境を整備するため、各種健診や保健指導の充実、母子の健康の確保を図るとともに、親の育児不安の軽減や解消を図るため、児童家庭相談体制を充実し、妊娠期からの一貫した支援を推進する。
- 子どもと子育て家庭にやさしい環境づくりのため、放課後児童の居場所づくり等、保護者の就労形態や社会参加等に対応した多様な支援サービスの充実を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	子育て支援センター事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	子どもの育ちや親への子育て支援に関する相談事業、交流事業、健康講座、食育講座、ボランティア活動推進、玩具・絵本の貸出し、他団体への支援、情報提供を行う。					
見込まれる効果	子どもの健やかな育ちや自立を促すとともに、親の育児不安や子育ての孤立化を解消し、地域ぐるみの子育て環境の形成が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2, 141	2, 141	2, 141	2, 141	2, 141	10, 705
国県補助事業の 名称、補助率等	次世代育成支援対策ソフト交付金（補助率 10／10）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 当事業を中心となって実施するとともに、更なる事業の充実に取り組む。 【周辺自治区】 当事業に関する情報を住民に周知するとともに、利用促進に努める。					

主要事業②

事業名	乳幼児等健康診査事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	乳児・1歳6か月児・3歳児健診を行い、疾病の早期発見や心身の発達・養育相談等に応じる。(5歳児健診は金城自治区のみ実施)					
見込まれる効果	疾病や障害の早期発見、早期対応が可能になるとともに、養育相談により悩みやストレスの解消、必要なサービスの情報提供が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	10,418	10,418	10,418	10,418	10,418	52,090
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の乳幼児の疾病等の情報や保護者の養育相談内容等を総合的に管理、分析し、利用者への確かなサービスの情報提供や助言を行う体制を整備する。また、当事業の円滑な運営と総括を行う。 【周辺自治区】 当事業を周知し利用促進に努めるとともに、浜田自治区へ情報提供する。					

主要事業③

事業名	安心お産応援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	妊婦健康診査の公費負担の拡充、一般不妊治療費の助成、ママパパ学級の開催、お産応援システム体制の周知、支援を行う。					
見込まれる効果	妊娠から出産までの総合的な支援により安心した出産が可能となり、圏域でのお産体制の維持・確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	51, 859	51, 859	51, 859	51, 859	51, 859	259, 295
国県補助事業の名称、補助率等	妊婦健康診査臨時特例交付金（補助率 1／2（健診 6～14 回））					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の妊娠・出産に関する状況を把握し、関係医療機関等と連携して事業を実施する。 【周辺自治区】 妊娠・出産に関する状況を浜田自治区に情報提供するとともに、当事業を周知し利用促進に努める。					

主要事業④

事業名	放課後児童クラブ設置事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	保護者の就労支援として、児童（小学校 1～3 年生）を対象にした放課後児童クラブを設置、運営する。					
見込まれる効果	放課後の生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全育成、保護者の子育てと仕事の両立支援が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	108, 730	108, 730	108, 730	108, 730	108, 730	543, 650
国県補助事業の名称、補助率等	放課後子どもプラン推進事業（補助率 国 1／3、県 1／3）					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の児童の状況を基に関係部署と連携し、事業の円滑な運営と統括を行う。 【周辺自治区】 児童の状況を浜田自治区へ情報提供するとともに、当事業を周知し利用促進に努める。					

主要事業⑤

事業名	次世代育成支援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	次世代育成支援計画に基づき、少子化対策・子育て支援事業（保育事業、子育て支援拠点事業、健康支援事業、虐待予防事業、相談事業等）を行う。					
見込まれる効果	子育て家庭が多様化・複雑化する中で、地域の子育て支援体制の整備、充実が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	19,007	19,007	19,007	19,007	19,007	95,035
国県補助事業の名称、補助率等	次世代育成支援対策ソフト交付金（補助率約 1／2） 子ども支援センター運営事業費（補助率約 1／2） しまね子育て支援プラス事業補助金（補助率 10／10）					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 各自治区の現状と要望を把握し、サービスの均等化に努めるとともに、自治区に応じた事業の企画、運営調整を行う。 【周辺自治区】 子育て環境等の要望を把握し、支援体制の充実に取り組む。					

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

〔現状と課題〕

- 高齢化の進行により、介護を必要とする要介護認定者が増加し、介護給付費が増加している。
- 高齢化の進行に加え、ストレスを要因とした精神疾患等を罹患する人が増加するとともに、障がいの重度化・重複化が進行している。
- 発達障がいのある人への支援について、世間の関心や支援者からのニーズが高まっているが、相談や支援を行う専門機関が不足している。そのため、保健・医療・福祉・教育・労働分野等の関係機関が連携した支援体制の整備が必要である。
- 障がい者の自立支援のため、地域生活への移行が円滑に行えるサービス提供体制の整備が必要である。

〔具体的な取組〕

- 高齢者になっても住み慣れた地域で生活できるよう、介護予防に取り組むとともに、介護が必要になっても住み慣れた地域で生活できるよう、地域包括支援センター※1機能の充実や地域における支援ネットワークの構築を図る。
- 障がい者の地域支援移行の増加に備え、地域での生活を支援する体制を整備し、支援を行う。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	介護予防事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	要介護状態になることを防止するため、予防や悪化防止のプログラムを実施する。					
見込まれる効果	要介護認定者の減少とこれに伴う介護給付費の削減が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	61, 625	62, 000	62, 000	62, 000	62, 000	309, 625
国県補助事業の 名称、補助率等	地域支援事業委託費（受託事業）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 現状を分析し、介護予防のための必要なプログラムを企画、実施する。各自治区の現状を総合的に把握、分析し、介護予防のために必要なプログラムを作成、実施する。 【周辺自治区】 当事業を周知するとともにプログラムを実施する。					

※1 「地域包括支援センター」 介護保険法で定められた、地域住民の保健・福祉・医療の向上、虐待防止、介護予防マネジメント等を総合的に行う機関。

主要事業②

事業名	地域包括支援センター運営事業		実施自治区	全自治区		
事業概要	地域包括支援センターを運営し、地域住民が住み慣れた地域で安心して生活することができるように包括的で継続的な支援を行う。					
見込まれる効果	高齢者に関する相談窓口の総合化と地域のネットワークの構築が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	53, 292	54, 000	54, 000	54, 000	54, 000	269, 292
国県補助事業の 名称、補助率等	介護プラン料 地域支援事業委託費（受託事業）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 地域包括支援センターの設置、運営を行う。 【周辺自治区】 地域包括支援センターの機能等の周知に努める。					

主要事業③

事業名	障害者相談支援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	浜田自治区にある障がい者の相談支援機関等を中心として、障がいのある人、その保護者、介護者等からの相談内容に応じた情報提供や権利擁護のための援助を行う。					
見込まれる効果	支援を必要としている人へ社会資源を効率的かつ効果的に提供することが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	19, 829	19, 829	19, 829	19, 829	19, 829	99, 145
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各種団体との連携の強化とサービス内容の把握を行い、支援体制の強化に努める。 【周辺自治区】 当事業を住民に周知するとともに、利用促進に努める。					

C 教育

ア 読書活動の強化

〔現状と課題〕

- 圏域 5 か所の市立図書館（室）における蔵書のデータベース化と図書館ネットワークシステムの導入に伴い、図書情報の共有化と図書館利用者の利便性の向上を図る必要がある。
- 移動図書館（ラブック号）は、小・中学校や公民館を中心にステーション 43 か所を 8 コースに分けて巡回しており、これを更に活用して図書貸出しサービスの均一化と読書環境の整備に努め、読書活動を推進する必要がある。
- 読書ボランティアは、子どもの読書活動の推進になくてはならない存在となっているため、研修や情報交換の機会を増やし、ボランティアや団体間のネットワークを強化する必要がある。
- 学校図書館での図書貸出し冊数は、図書館司書等の配置によって増えており、今後は調べ学習等の学習情報センター機能を強化する必要がある。

〔具体的な取組〕

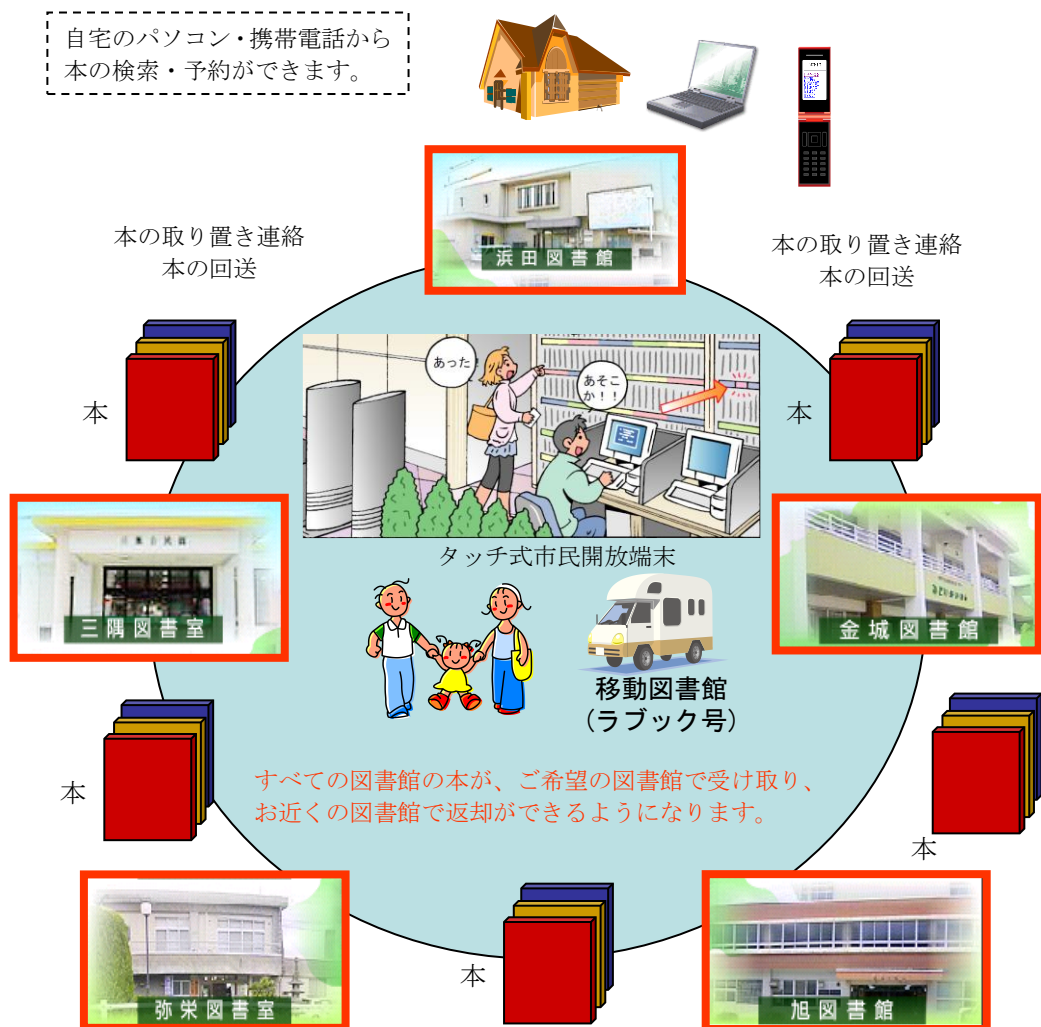
- 図書館ネットワークシステムの更なる周知と利用促進に努めるとともに、新たな蔵書等のデータベース化を行う。
- 移動図書館（ラブック号）の効果的な巡回や中央図書館を活用した読書環境を整備する。
- 学校図書館に図書館司書や図書館ボランティアの配置を行うとともに、学校図書館支援センターによる学校図書館の支援を行う。
- 島根県立図書館の支援を受け、読書ボランティアとしての心構えや技術を磨く研修を実施するとともに、読書ボランティア団体間の情報交換を行うための交流会を実施する。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	図書館ネットワークシステム管理事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	図書館ネットワークシステムを利用し、スムーズな蔵書の検索、予約のための管理、運営を行う。					
見込まれる効果	図書館利用者の利便性の向上により、図書貸出し冊数の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	4, 417	5, 082	10, 755	10, 755	10, 755	41, 764
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 ネットワークシステムの管理と機能の充実を図り、利便性の向上に努める。 【周辺自治区】 当システムに関する情報提供を行い、利用を促進する。					

【浜田市立図書館ネットワーク図】



主要事業②

事業名	中央図書館整備事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	現浜田図書館を新たに中央図書館として整備し、周辺自治区の図書館（室）との連携の強化を図る。					
見込まれる効果	中央図書館の機能を活用し、各図書館（室）との連携を強化することで、大幅な利用者の増加が見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	451,780	772,406	582,000	0	0	1,806,186
国県補助事業の 名称、補助率等	過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 周辺自治区の図書館（室）の利便性が高まるように、中央図書館の整備と運営システムを構築する。 【金城・旭・弥栄自治区】 中央図書館の機能を活用し、図書館（室）の機能の充実に努める。 【三隅自治区】 三隅図書館を建設し、機能の充実に努める。					

主要事業③

事業名	移動図書館車配本事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	図書館の利用が困難な地域をラブック号で巡回し、図書の貸出しを行う。					
見込まれる効果	地理的条件にかかわらず、均一な図書貸出しサービスの提供が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	1,902	1,747	1,747	1,747	1,747	8,890
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各自治区のニーズを把握し、効率的な巡回に努めるとともに、当事業の充実に取り組む。 【周辺自治区】 当事業を周知するとともに、利用促進に努める。					

主要事業④

事業名	学校図書館充実事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	学校図書館に司書・図書館ボランティアを配置する。また、全体を統括する学校図書館支援センターを中心に、児童・生徒の読書活動の推進を図る。					
見込まれる効果	学校図書館支援センターを設置して全体の統括を行うことで、均一な読書活動の推進と学校図書館の利用促進が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	18, 897	18, 897	18, 897	18, 897	18, 897	94, 485
国県補助事業の 名称、補助率等	子ども読書活動推進事業（補助率 1／2）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 学校図書館司書やボランティアへの研修や交流会を実施する。 【周辺自治区】 学校図書館の利用状況を把握し、効率的な司書・ボランティアの配置に努める。					

D 産業振興

ア 観光振興

〔現状と課題〕

- 観光入込客数は、ライフスタイル※1の多様化に伴う観光客のニーズの変化により、減少傾向にあり、国内外への積極的なPR活動を行う必要がある。
- 誘客による経済効果を高めるため、海と山が近接した中山間地であることや温泉を有する圏域の特性を活かして、都市住民が求めるスローライフ※2に着目し、観光客が長く滞在できる仕組みづくりが求められている。
- 国内の都市部や海外に向けた積極的なPR活動やニーズ調査を行う等、観光需要に適時に対応するための戦略的な取組を行う必要がある。

〔具体的な取組〕

- 地域資源である海や山での感動を与える体験や民泊の受け皿となる組織の育成強化を図る。
- 関係団体と連携して癒しのスローライフを提供する多様なツーリズム※3の商品開発に取り組み、国内の都市部や国外に向けた積極的な情報発信を行う。
- ツーリズム体験、スポーツ施設、歴史・文化資産、娯楽施設等を有効に活用し、合宿や教育旅行による誘客を図る。
- 郷土芸能である石見神楽の演目の原拠とされる古事記が編纂されて平成24年で1300年を迎える。これを石見神楽の大きなPRの機会と捉え、石見神楽の起源や歴史・伝統を紹介するとともに、夜神楽上演、神楽鑑賞ツアーの商品化、神楽関連商品の開発、神楽に不可欠な石州和紙産業の保存と育成等に取り組む等、石見神楽の里づくりを進める。
- 豊富な食材や食文化を活用したご当地グルメの開発とおもてなしの心の醸成により、食の魅力あふれるまちづくりを推進し、観光客の増加を図る。

※1 「ライフスタイル」 生活様式や営み方。また、人生観、価値観・習慣等を含めた個人の生き方。

※2 「スローライフ」 自然と調和してゆったりした時間の流れを楽しむ生き方を求める人のライフスタイル。

※3 「ツーリズム」 自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型余暇活動。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	石見神楽振興事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	重要な観光資源である石見神楽を関西・山陽地域で上演し、新たなファンの獲得を図る。また、圏域において夜神楽上演を一定期間開催し、宿泊客の集客を図る。					
見込まれる効果	県外者の神楽ファンや観光客の増加、夜神楽上演による宿泊者等の入込客の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	5, 229	4, 400	4, 400	4, 400	4, 400	22, 829
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 石見神楽の魅力を伝えるPR活動を県内外で行う。 【周辺自治区】 宿泊施設や温泉組合等との協力関係を維持し、宿泊客の集客に努める。					

【石見神楽の代表的演目「大蛇」】



主要事業②

事業名	石見神楽関連商品開発事業 (ふるさと雇用再生事業)		実施自治区	全自治区		
事業概要	浜田市観光協会と連携し、地域の伝統芸能である石見神楽に関連する商品開発等に取り組むとともに、その営業収益により同協会内に雇用の場を確保し、石見神楽伝承基金の創出を目指す。					
見込まれる効果	石見神楽の里として認知度を高めることにより、雇用の確保と観光客の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	13, 143	5, 000	5, 000	5, 000	5, 000	33, 143
国県補助事業の 名称、補助率等	ふるさと雇用再生特別基金事業（補助率 10／10、平成 23 年度まで）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 浜田市観光協会と連携し、神楽社中（約 50 社中）の対外的な窓口一本化を目的とした「(仮称) 石見神楽社中連絡会」を設立するとともに、子ども神楽教室の開催、神楽社中のプロ化に向けた研究等を行う。 【周辺自治区】 「(仮称) 石見神楽社中連絡会」で情報を共有し、自治区内の関係者との連絡調整を行う。					

主要事業③

事業名	石見神楽と和紙の里魅力発信事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	古事記 1300 年記念事業に伴い、神楽社中における石州和紙の活用を促進するとともに、石見神楽と石州和紙の物語を大切にしたい情報発信を行い、観光客の誘致を目指す。					
見込まれる効果	石見神楽と石州和紙との深いかかわりを広く周知することにより、和紙の販路拡大、原料の確保、後継者育成等に寄与することが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	800	800	800	800	800	4,000
国県補助事業の 名称、補助率等	浜田地区広域行政組合負担金					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 石見神楽と石州和紙の結びつきに関する情報を整理し、圏域の神楽社中に石州和紙の利用を働きかける。 【三隅自治区】 石州半紙技術者会との連絡調整を行う。 【他の自治区】 石見神楽と石州和紙の結びつきに関する情報を共有し、周知に努める。					

【石州和紙会館での手すき和紙体験】



主要事業④

事業名	古事記編纂 1300 年記念プロジェクト【新規】			実施自治区	全自治区	
事業概要	平成 24 年の「古事記編纂 1300 年」を機に、古事記・日本書記・万葉集等に描かれ、受け継がれてきた歴史文化に彩られた「島根」の魅力を県、市町村、民間団体等が一体となって広報宣伝や企画し、事業を展開する。					
見込まれる効果	島根県や圏域の魅力を全国に P R することにより、観光客の増加が見込まれるとともに、歴史・文化の価値を再認識し、郷土への誇りと愛着心の醸成が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	1, 517	1, 517	1, 517	0	0	4, 551
国県補助事業の 名称、補助率等	神話のふるさと「島根」推進事業（補助率 2／3）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 プロジェクトを企画し広報宣伝を行うとともに、事業を実施する。 【周辺自治区】 各種団体と連携し、事業を実施する。					

主要事業⑤

事業名	魅力の旅探求事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	広島県や島根県を中心に、新聞や広告媒体等を活用して観光情報を発信するとともに、大阪市の観光関連専門学校の授業に圏域のツーリズムをテーマにしたカリキュラムを組み込み、現地視察等の具体的なツアーの企画とその成果を基にした商品化を支援する。					
見込まれる効果	都市圏における若者の視点からの企画や観光情報の継続的な発信により、観光客の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2,754	2,600	2,600	2,600	2,600	13,154
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 浜田市ツーリズム協議会と連携し、専門学校の受入れ体制の整備とツアーの商品化支援を行う。 【周辺自治区】 専門学校の現地研修の受入れとともに、提案を具現化するための受入れ体制の整備に取り組む。					

主要事業⑥

事業名	自然体験型観光推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	自然体験型観光※4の受入れ体制の強化と広報活動を展開する。また、各種団体へ事業補助を行い、山・海を活用した幅広い観光プランを作成し、教育旅行※5や体験型観光旅行等の誘客を図る。					
見込まれる効果	都市部等の観光客のニーズに応じたプランを発信することにより、観光客の増加が見込まれる。また、農家やマリンスポーツ関係団体等による、ツーリズムを活用した新たな事業展開が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	638	630	630	630	630	3, 158
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 浜田市ツーリズム協議会を中心に、自然体験型観光の受入れ体制の強化と広報活動を展開する。 【周辺自治区】 関係施設や団体と連携して、癒しのスローライフを提供する多様なツーリズム商品の発掘を行う。					

【マリンツーリズム体験】



※4「自然体験型観光」 見学型観光と異なり、自然や生産活動等に実際に触れて感じることを目的とした観光。

※5「教育旅行」 修学旅行や林間学校等、学校が教育の一環として行っている旅行。

主要事業⑦

事業名	感動を呼ぶツーリズム創造事業 (ふるさと雇用再生事業)			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域のツーリズムを感動産業に昇華させるため、ツーリズム協議会に専任の職員を配置して新たな事業展開を目指す。					
見込まれる効果	民泊受入先等の新たな会員の獲得と育成を行うとともに、ツーリズムメニューやモデルコースの探求、営業活動の強化等が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	6, 262	3, 000	3, 000	3, 000	3, 000	18, 262
国県補助事業の 名称、補助率等	ふるさと雇用再生特別基金事業（補助率 10／10、平成 23 年度まで）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 浜田市ツーリズム協議会を中心に、民泊受入れ先や会員の確保と育成、誘客活動の強化を行う。 【周辺自治区】 関係施設や団体と連携して、癒しのスローライフを提供する多様なツーリズム商品の発掘を行う。					

主要事業⑧

事業名	合宿誘致事業【新規】			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域のスポーツ施設、ツーリズム体験、歴史・文化資産、娯楽施設等を有効に活用して、特に広島市等の都市部を中心に合宿や教育旅行の誘致を図る。また、合宿関連施設や交流施設として廃校の利活用を推進する。					
見込まれる効果	圏域に長時間滞在する仕組みの構築が見込まれる。また、廃校等の遊休施設の活用により、その周辺地域の活性化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	4, 000	20, 000
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 広島市等の都市部に向けた合宿や教育旅行の誘致活動を行う。 【周辺自治区】 スポーツ施設や宿泊施設等の利用状況を把握するとともに、ニーズに応じた廃校活用の方法を探る。					

主要事業⑨

事業名	浜田の五地想ものがたり※6 推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域のご当地グルメや郷土料理を提供できる受け皿を整備し、観光客の誘致を図る。					
見込まれる効果	郷土料理の伝承、保存が図られるとともに、地産地消の推進、観光客の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2,046	2,000	1,000	1,000	1,000	7,046
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各自治区に根付いた食文化の紹介により、新たな食の魅力の発見とその商品化に取り組む。 【周辺自治区】 地産地消を目指した食文化の伝承と住民意識の醸成に努める。					

【「浜田の五地想ものがたり」最優秀賞「浜田産ブイヤベース」他】



※6「五地想ものがたり」 浜田の5つの自治区の食文化への想いを込め、「ご馳走」と掛け合わせた造語。山海の豊富な食資源を見つめ直すとともに、地産地消へのこだわりとおもてなしの心をもって圏域の食の魅力をPRする取組。

イ 地域ブランド化

〔現状と課題〕

- 漁獲量の減少や魚価の低迷、消費者の魚離れ等の状況の中、基幹産業である水産業の振興を図るため、浜田漁港で水揚げされる「どんちっち」ブランドの知名度を高め、販路を拡大する必要がある。
- 内水面漁業※1においては、様々な要因によって減少しつつある水産資源の確保と増殖が課題である。
- 農用地の耕作放棄地の拡大が深刻な状況であり、今後の利活用や、農用地の保全管理が課題である。
- 基幹作物である米の品質向上を図るとともに、消費者や実需者のニーズに応じた米づくりを行う必要がある。
- 園芸においては、気象条件を活かした高品質な果実や環境に配慮した栽培で市場価値の高い有機野菜等の生産拡大を図る必要がある。
- 林業については、木材価格の低迷等により森林整備の遅れが課題である。

〔具体的な取組〕

- 「どんちっち」ブランド※2の知名度向上のため、新たな浜田産魚の水産ブランド確立による高付加価値化の推進に取り組む。
- 内水面漁業の振興のため、関係団体が行う放流事業等への支援を行う。
- 耕作放棄地の発生防止対策に積極的に取り組み、農地・用排水路・農道等の地域資源の保全を推進する。
- 米の保存と品質維持のため、品質向上物流合理化施設※3を活用し、高品質で安全な「浜田の米」の安定供給を図る。
- 森林所有者に森林の保育に要する費用を補助し、民有林の整備を促進する。また、地元産木材を積極的に活用した木材製品化を促進し、需要拡大を図る。
- 林業・漁協関係者との協働による植樹祭を開催し、森林と海のつながりを学ぶ機会を住民に提供する。

※1 「内水面漁業」 河川、池、沼等の淡水における漁業。

※2 『『どんちっち』ブランド』 浜田漁港で水揚げされる、一定の規格を満たすあじ、のどぐろ、かれい。

※3 「品質向上物流合理化施設」 色彩選別機、低温保存により、米を品種等で区分して保管する施設。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	水産物ブランド化事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	「どんちっち」ブランドの推進による浜田産魚の知名度向上と安全で安心な水産物の提供の支援に取り組み、新たなブランド開発を行う。					
見込まれる効果	「どんちっち」ブランドが全国的地位を確立することにより、浜田産魚の魚価のアップと、水産関係者の所得の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	3, 157	3, 500	3, 500	3, 500	3, 500	17, 157
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 新たなブランド開発を行うとともに、浜田産魚の知名度向上と安全で安心な水産物の提供の支援を行う。 【周辺自治区】 水産ブランドの周知を行う。					

【どんちっち三魚】



どんちっちあじ



どんちっちのどぐろ



どんちっちかれい



主要事業②

事業名	周布川水系魚族増殖事業			実施自治区	浜田自治区、金城自治区	
事業概要	アユ、うなぎ、山女等の稚蟹及び稚魚の放流事業に対する助成を行う。					
見込まれる効果	水産資源の維持保全と地域活性化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	180	180	180	180	180	900
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の内水面の状況を把握し、関係自治区と連携して事業を推進する。 【金城自治区】 内水面の状況を浜田自治区に情報提供する。また、事業者への活動支援を行い、水産資源の維持保全に取り組む。					

主要事業③

事業名	八戸川水系魚族増養殖事業			実施自治区	浜田自治区、金城自治区、旭自治区	
事業概要	アユ、うなぎ、山女等稚魚放流事業に対する助成を行う。(金城自治区) 漁場の監視と河川清掃整備体制の強化に対する助成を行う。(旭自治区)					
見込まれる効果	水産資源の維持保全と地域活性化が見込まれる。健全な体制での遊漁が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	280	280	280	280	280	1,400
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の内水面の状況を把握し、関係自治区と連携して事業を推進する。 【金城・旭自治区】 内水面の状況を浜田自治区に情報提供する。また、事業者への活動支援を行い、水産資源の維持保全に取り組む。					

主要事業④

事業名	漁業振興対策補助事業			実施自治区	浜田自治区、 三隅自治区	
事業概要	水産資源の増殖を図る活動への助成を行う。					
見込まれる 効果	内水面漁業の振興が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	9,500
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の内水面の状況を把握し、関係自治区と連携して事業を推進する。 【三隅自治区】 内水面の状況を浜田自治区に情報提供する。また、事業者への活動支援を行い、水産資源の維持保全に取り組む。					

主要事業⑤

事業名	三隅川漁業環境整備事業			実施自治区	浜田自治区、 三隅自治区	
事業概要	三隅川流域の魚場環境を整備することにより、アユ等の保護増殖を図り、住民の河川美化意識の向上を図る。					
見込まれる効果	内水面漁業環境の整備が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	481	481	471	471	462	2,366
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の内水面の状況を把握し、関係自治区と連携して事業を推進する。 【三隅自治区】 内水面の状況を浜田自治区に情報提供する。また、事業者への活動支援を行い、水産資源の維持保全に取り組む。					

主要事業⑥

事業名	水田利活用自給力向上事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	自給力の向上を図るため、水田を有効活用した、麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の戦略作物の生産を行う販売農家に対し、主食用米並の所得を確保し得る水準と同等の交付金を支給する。					
見込まれる効果	就農者の農業所得の安定と作物の生産体制の維持が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	未定	未定	未定	未定	未定	未定
国県補助事業の名称、補助率等	水田利活用自給力向上事業交付金（補助率 10／10）					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 当事業を周知するとともに、圏域の水田の活用状況を把握し、計画的な利活用を進める。 【周辺自治区】 水田の活用状況を浜田自治区に情報提供する。また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

主要事業⑦

事業名	耕作放棄地再生利活用推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	施設等の補完整備事業として、用排水施設、農道、市民農園、農業用機械の整備を行う。					
見込まれる効果	耕作放棄地の解消と農外企業参入の促進が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	5,000	5,000	5,000	0	0	15,000
国県補助事業の 名称、補助率等	耕作放棄地再生利用緊急対策交付金（補助率 定額または1／2 等）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の耕作放棄地の状況を把握するとともに、当事業を周知する。 【周辺自治区】 耕作放棄地の状況を浜田自治区に情報提供する。また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

主要事業⑧

事業名	がんばる地域応援総合事業		実施自治区	全自治区		
事業概要	地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組を支援する。					
見込まれる効果	戦略的な事業展開に対する助成を行うことにより、地域産業の活性化や産地化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	85,000
国県補助事業の 名称、補助率等	地域提案戦略支援・経営施設等整備支援等補助金 (補助率 ソフト 1/2 以内、ハード 1/3 以内)					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の状況を把握するとともに、当事業を周知する。 【周辺自治区】 自治区内の取組状況を浜田自治区に情報提供する。 また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

主要事業⑨

事業名	林業推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	森林所有者が行う造林や森林の保育に要する費用を補助し、林業関係の各種団体に間伐や間伐材の促進、間伐材を利用した商品開発を支援する。					
見込まれる効果	森林の適切な整備を促し、地域林業の振興と水源かん養、自然環境の保全に寄与することが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	12, 570	12, 570	12, 570	12, 570	12, 570	62, 850
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の状況を把握するとともに、当事業を周知する。 【周辺自治区】 自治区内の状況を浜田自治区に情報提供する。また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

【植林作業の様子】



【間伐作業の様子】



主要事業⑩

事業名	生産拡大緊急対策出荷奨励事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	いわみ中央農業協同組合が運営する「産直きんさい市場」に農林産物を出荷する者やＪＡに対し、その生産、出荷、集荷に関する経費の一部を助成する。					
見込まれる効果	地元農産物の生産拡大を奨励することにより、生産者の育成や確保を図ることができ、地域農業の活性化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	6,300	0	0	0	0	6,300
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 支援団体への助成を行い、圏域からの農林産物の生産、出荷、集荷を強化する。 【周辺自治区】 浜田自治区と連携し、生産、出荷、集荷を強化する。					

主要事業⑪

事業名	米の品質向上・安全・安心対策事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	米の色彩選別機等の利用料金を助成する。					
見込まれる効果	米の品質改善が図られるとともに、浜田の米の安全で安心を担保できる体制の推進と、米販売額のアップが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2,310	2,310	0	0	0	4,620
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の状況を把握するとともに、支援団体への助成を事業の利用促進に努める。 【周辺自治区】 米の品質や生産額等を浜田自治区に情報提供する。 また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

主要事業⑫

事業名	森づくり・資源活用実践事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	林業・漁業関係者等との協働による植林活動に取り組むとともに、住民参加による森林整備を進める。また、地元産木材を活用した児童用机天板等を導入する。					
見込まれる効果	森林環境に対する住民の関心が高まり、行政と住民が一体となった森林整備と木材の需要拡大による林業への関心が高まることが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500
国県補助事業の 名称、補助率等	みーもの森づくり事業（補助率 10／10 または 1／2）					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 実行委員会事務局を担当し、事業推進に努める。また、圏域の状況を把握するとともに、支援団体への助成を行う。 【周辺自治区】 植樹会場を持ち回り開催し、事業推進に努めるとともに、事業の周知を行う。					

2 結びつきやネットワークの強化に係る取組

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

〔現状と課題〕

- 近年、自家用車等の普及や人口減少に伴い、公共交通機関の利用者が減少している。

また、中山間地域が大部分を占め、急速に高齢化が進む中、民間バス路線の廃止等が打ち出されており、将来的に安心して生活を営むための生活公共交通の確保が課題である。

〔具体的な取組〕

- 日常生活における交通手段を確保するため、「(仮称) 地域公共交通計画」を策定し、住民、交通事業者、関係機関、市が連携して住民の利用実態に応じた持続可能で利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。
- 民間バス路線を維持するため、事業者への欠損補助を行い、利用促進に努める。
また、市営バスの運行により民間バス路線と J R 山陰本線との利便性の高いアクセス体制を構築し、生活バス路線の維持、確保を図る。
- 公共交通空白地域の解消を図るため、デマンドタクシー※1や自治会輸送※2の更なる利便性の向上に努めるとともに、運行システム等の改善に取り組む。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名		(仮称) 地域公共交通計画策定事業【新規】		実施自治区		全自治区	
事業概要		より効率的な公共交通の運行を図り、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、公共交通の総合的な見直しを行い、(仮称) 地域公共交通計画を策定する。					
見込まれる効果		各公共交通機関相互の連携強化、利用率の向上、移動手段の確保が見込まれる。					
事業費 (千円)		H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
		6, 553	0	0	0	0	6, 553
国県補助事業の名称、補助率等		—					
各自治区の役割分担		【浜田自治区】 地域公共交通活性化協議会を設立し、関係機関と連携して(仮称) 地域公共交通計画の策定を行う。 【周辺自治区】 各自治区における公共交通機関の利用実態と課題を検証し、既存の交通事業者・関係機関との連携、調整に努める。					

※1 「デマンドタクシー」 予約型乗合タクシー。玄関先から目的地までドア・ツー・ドアで移動できる乗り合いタクシー。

※2 「自治会輸送」 圏域の公共交通空白地域において、自治会等の住民組織が主体的に高齢者等交通弱者の日常生活における移動の手段を確保する営利を目的としない輸送活動。

主要事業②

事業名	新交通システム運営事業 (デマンドタクシー、自治会輸送)			実施自治区	浜田自治区、金城自治区、旭自治区、弥栄自治区	
事業概要	公共交通空白地域における高齢者等の生活交通手段を確保するため、デマンドタクシーの運行や自治会輸送活動への支援を行う。					
見込まれる効果	公共交通空白地域における交通弱者の移動手段の確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	28,888	28,988	28,888	28,988	28,888	144,640
国県補助事業の 名称、補助率等	過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 周辺自治区と連携し、公共交通空白地域の効率的な解消策の検討、調整を行う。 【金城・旭・弥栄自治区】 デマンドタクシー等の利用実態を把握するとともに、利用者ニーズに応じた効率的で利便性の高い新交通の運行体制を整備する。					

主要事業③

事業名	生活路線バス運行事業 (路線バス廃止対策事業を含む)			実施自治区	全自治区	
事業概要	生活交通の確保と公共交通の充実のため、市営バスを運行する。					
見込まれる効果	買い物や通院等の日常生活に必要な交通手段の確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	52,594	71,894	71,894	62,594	52,594	311,570
国県補助事業の 名称、補助率等	生活バス路線確保対策交付金					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 中心部へのアクセスの利便性向上と効率的な運行に向けた調整を行う。 【周辺自治区】 利用者ニーズを把握するとともに、民間バス路線やＪＲ山陰本線との接続を調整し、市営バスを効率的に運行する。					

主要事業④

事業名	路線バス利用促進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	生活交通路線バスの運行に係る経常欠損額等を民間バス事業者に補助する。					
見込まれる効果	民間バス事業者が運行する赤字路線の欠損補助等を行うことにより、生活バス路線の維持、確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	95, 045	95, 045	95, 045	95, 045	95, 045	475, 225
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 民間バス路線の維持、確保のため、他の交通機関との効率的な接続体制を整備し、バス利用の促進に努める。 【周辺自治区】 市営バスやデマンドタクシーとの効果的な接続を調整し、民間路線バスの利用促進に努める。					

B デジタル・ディバイド※1の解消に向けたICT※2インフラ※3整備

ア 携帯電話不感地域の解消

〔現状と課題〕

- 携帯電話は、通信手段として日常生活に深く浸透しているが、山間部等においては、利用できない不感地域が存在し、警察や消防への緊急通報等にも支障をきたしている。また、これらの不感地域には、災害時の避難場所として指定されている施設もあるため、早期の携帯電話不感地域の解消が求められている。

〔具体的な取組〕

- 地域の要望を取りまとめ、携帯電話事業者に対する施設整備の要望活動を行う。また、採算性の問題等によりサービスが提供されない地域については、市が整備した光ファイバーの開放や関係機関の補助事業を活用し、施設整備を進める。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	移動通信用鉄塔整備事業		実施自治区		全自治区	
事業概要	携帯電話不感地域の調査や地域要望を取りまとめ、移動通信用鉄塔施設を整備する。 （鉄塔整備予定）平成 23 年度 三隅自治区 井川地区：鉄塔 1 基					
見込まれる効果	携帯電話不感地域が解消され、利便性の向上と安全で安心な生活に寄与することが見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	50,000	0	0	0	0	50,000
国県補助事業の名称、補助率等	携帯電話等エリア整備事業（補助率 2／3、事業者負担金 5／45） 辺地対策事業債					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の携帯電話不感地域を調査、集約し、その解消に向けて早期整備を行う。 【周辺自治区】 携帯電話不感地域の調査を行うとともに、地域要望を取りまとめる。					

※1 「デジタル・ディバイド」 パソコンやインターネット等の情報通信技術(ICT)の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じる経済格差を指し、通常「情報格差」と訳される。

※2 「ICT」 情報・通信に関連する技術の総称。

※3 「インフラ」 インフラストラクチャの略でシステムや事業を有効に機能させるために基盤として必要となる設備や制度などのこと。

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

〔現状と課題〕

- 広域な圏域を抱える現状において、各自治区の拠点地域を結ぶ生活幹線道路の整備が求められている。
- 圏域の大部分を占める中山間地域においては、今後ますます高齢化の進行が予想される中で、住民が安全で安心な生活を確保するためには、災害等の緊急時における避難路としても市道や農林道の整備が求められている。

〔具体的な取組〕

- 浜田自治区は、国道・県道や広域農道を主要幹線道路に、市道や農林道を地域に密着した生活道路に位置付け、安定した市民生活の確保や地域の産業振興を図るため、利便性の高い道路ネットワークの整備を推進する。
- 金城・旭・弥栄・三隅自治区は、主要幹線道路と生活道路との円滑な接続や道路機能の充実を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	櫛田原（西・東）農道整備事業			実施自治区	浜田自治区	
事業概要	櫛田原地区の市道は幅員狭小で屈曲しており、整備予定の櫛田原地区県営農道と市道櫛田原中央線を接続する東西２ルートを新設整備する。 【西農道 L=200m、東農道 L=340m、W=4.0m】					
見込まれる効果	櫛田原地区における緊急車両等の通行や三隅自治区から櫛田原地区県営農道までの接続が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	6, 000	8, 000	8, 000	8, 000	6, 000	36, 000
国県補助事業の名称、補助率等	合併特例債					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 主要幹線道路との円滑な接続のための整備を行うとともに、圏域の道路ネットワークの調整を行う。					

主要事業②

事業名	今福有福線道路改良工事			実施自治区	浜田自治区、 金城自治区	
事業概要	主要地方道田所国府線と那賀東部広域農道を接続する生活道路で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=2,000m、W=4.0m】					
見込まれる効果	地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	0	0	0	20,000	30,000	50,000
国県補助事業の 名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 合併特例債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【金城自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業③

事業名	沢津線改良事業			実施自治区	浜田自治区、 金城自治区	
事業概要	幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=2,300m、W=5.0m】					
見込まれる効果	地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	0	0	30,000	50,000	80,000	160,000
国県補助事業の名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 辺地事業対策債					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【金城自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業④

事業名	柏尾谷線改良事業			実施自治区	浜田自治区、旭自治区	
事業概要	幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=2,280m、W=7.0m】					
見込まれる効果	都川地区と浜田自動車道の重富バス停、県道浜田作木線とのアクセス時間が短縮でき、地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	100,000	100,000	100,000	0	0	300,000
国県補助事業の名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 過疎対策事業債					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【旭自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業⑤

事業名	戸地線改良事業			実施自治区	浜田自治区、旭自治区	
事業概要	改良済み区間（重富地区）と改良中の市道柏尾谷線を接続する路線で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=1,400m、W=7.0m】					
見込まれる効果	都川地区から重富地区までの地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	0	0	10,000	30,000	100,000	140,000
国県補助事業の名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 過疎対策事業債					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【旭自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業⑥

事業名	谷線道路改良事業			実施自治区	浜田自治区、 弥栄自治区	
事業概要	那賀西部広域農道から県道黒沢安城浜田線までの区間は、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=2,500m、W=5.0m】					
見込まれる効果	地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	10,000	25,000	25,000	25,000	0	85,000
国県補助事業の 名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【弥栄自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業⑦

事業名	白砂小学校線道路改良事業			実施自治区	浜田自治区、 三隅自治区	
事業概要	室谷農免農道から白砂公民館までのアクセス道路で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=600m、W=5.0m】					
見込まれる効果	室谷農免農道から白砂公民館までの地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	0	20,000	50,000	50,000	60,000	180,000
国県補助事業の 名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【三隅自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

主要事業⑧

事業名	白砂今浦線道路新設事業			実施自治区	浜田自治区、 三隅自治区	
事業概要	現在の今浦集落から国道 9 号までのアクセス道路の幅員は、狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、当集落から国道 9 号までの最短アクセス道として新設整備する。【L=900m、W=6.0m】					
見込まれる効果	今浦集落から国道 9 号までの地域住民の移動や緊急車両等の通行が容易になり、地域住民の安全の確保と自治区間を結ぶ生活道路としての利便性の向上が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	50, 000	50, 000	50, 000	67, 970	0	217, 970
国県補助事業の 名称、補助率等	過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 自治区間を円滑につなぐ道路ネットワーク整備の調整を行う。 【三隅自治区】 自治区間をつなぐ道路の整備を行い、道路機能の充実に努める。					

イ 冬期の安全道対策

〔現状と課題〕

- 冬期の積雪や路面凍結は、日常生活の大きな障害になっており、通勤や通学、産業活動等に与える影響が極めて大きいため、迅速かつ効率的な除雪体制を整備する必要がある。
- 公共事業の減少や景気の低迷等から、除雪に携わる建設業者が保有する除雪機械の減少や老朽化、機械オペレーター不足の対応が必要である。

〔具体的な取組〕

- 冬期における道路交通の安全確保のため、各自治区の実情に応じた除雪計画を立て、迅速かつ効率的な除雪作業を実施する。除雪作業は、交通量の多い幹線道路や地域住民に密着した通勤・通学路等を中心に実施する。
また、歩行者や電動カート等の安全を確保するため、幹線道路の整備に伴って整備された歩道の除雪作業を行う。
- 各自治区の除雪体制を維持するため、市有の除雪機械を増強する。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	除雪車購入事業			実施自治区	浜田自治区、旭自治区、弥栄自治区	
事業概要	住民要望による除雪路線の増加に対処するため、除雪機械の保有台数を増やし、豪雪時にも対応できる機動力を確保する。					
見込まれる効果	迅速かつ効率的な除雪作業を行って生活道路の通行を確保することができる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	9,000	0	15,000	15,000	0	39,000
国県補助事業の 名称、補助率等	社会資本整備総合交付金（補助率 55%） 過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の除雪機械の状況を把握し、効率的な更新を行う。 【周辺自治区】 除雪機械の適正な配備と維持管理をする。					

主要事業②

事業名	除雪事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	冬期の積雪や路面凍結は、日常生活の大きな障害になっており、通勤・通学・産業活動等に与える影響は極めて大きいため、迅速かつ効率的な除雪を行い、冬期の安全対策を図る。					
見込まれる効果	生活道路の通行を確保することにより、民生の安定を図る。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 各自治区の除雪状況を把握し、関係部署等へ適宜情報を伝達する。 【周辺自治区】 地元業者等と連携し、除雪を実施する。					

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

〔現状と課題〕

- 多様化する消費者ニーズや産地間競争の動向を踏まえ、個性ある産地づくりを進める必要がある。

〔具体的な取組〕

- 地元の特産品の生産拡大と高付加価値化を図るとともに、新規作物の導入を促進する。

また、安全で安心な農産物の供給体制を強化し、産直市の利用促進を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	浜田の五地想ものがたり推進事業【再掲】			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域のご当地グルメや郷土料理を提供できる受け皿を整備し、観光客の誘致を図る。					
見込まれる効果	郷土料理の伝承、保存が図られるとともに、地産地消の推進、観光客の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2,046	2,000	1,000	1,000	1,000	7,046
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 各自治区に根付いた食文化の紹介により、新たな食の魅力の発見とその商品化に取り組む。 【周辺自治区】 地産地消を目指した食文化の伝承と住民意識の醸成に努める。					

主要事業②

事業名	生産拡大緊急対策出荷奨励事業【再掲】			実施自治区	全自治区	
事業概要	いわみ中央農業協同組合が運営する「産直きんさい市場」に農林産物を出荷する者やＪＡに対し、その生産、出荷、集荷に関する経費の一部を助成する。					
見込まれる効果	地元農産物の生産拡大を奨励することにより、生産者の育成や確保を図ることができ、地域農業の活性化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	6,300	0	0	0	0	6,300
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 支援団体への助成を行い、圏域からの農林産物の生産、出荷、集荷を強化する。 【周辺自治区】 浜田自治区と連携し、生産、出荷、集荷を強化する。					

主要事業③

事業名	地産地消推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	学校給食で地元特産果樹を提供することで地産地消を図るとともに、はまだ食の大使『三國清三シェフ』による地産地消レシピ親子教室等、地産地消に係る商品開発や地元商品のPRを行う。					
見込まれる効果	地元産品の有効活用や販売促進による地産地消の推進と生産活動の活性化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2, 597	2, 597	2, 000	2, 000	2, 000	11, 194
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 地元産品の有効活用方法を検討し、圏域内での消費促進に努める。 【周辺自治区】 地元産品の情報を提供する。					

主要事業④

事業名	がんばる地域応援総合事業 【再掲】			実施自治区	全自治区	
事業概要	地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組を支援する。					
見込まれる効果	戦略的な事業展開に対する助成を行うことにより、地域産業の活性化や産地化が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	85,000
国県補助事業の名称、補助率等	地域提案戦略支援・経営施設等整備支援等補助金 (補助率 ソフト 1/2 以内、ハード 1/3 以内)					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域の状況を把握するとともに、当事業を周知する。 【周辺自治区】 自治区内の取組状況を浜田自治区に情報提供する。 また、当事業を周知し、利用促進に努める。					

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

〔現状と課題〕

- 各自治区の特徴を活かした定住施策は一定の効果をあげているが、更にそれぞれの地域特性や地域資源を一体的かつ有機的に関連させる必要がある。具体的には、圏域の情報を発信し、交流人口※1の拡大と移住希望者の受入れ体制を強化する必要がある。

〔具体的な取組〕

- 本市ホームページや都市部で開催される定住フェア等において圏域の定住施策を紹介する等、積極的な情報発信を行う。

また、定住相談を行うとともに、より多くの移住希望者に圏域を訪れてもらい、「来て」「見て」「知って」「暮らして」もらうをキーワードにしたU・Iターン施策を実施し、交流人口や定住人口の拡大を図る。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	はまだ暮らし体験事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	圏域への移住を考えているU・Iターン希望者を対象に、お試し住宅等の短期間の滞在型体験事業に取り組む。					
見込まれる効果	圏域における交流人口と定住人口の拡大が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	3,155	3,155	3,155	3,155	3,155	15,775
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 圏域外に向けて各種情報の受発信を行うとともに、滞在型体験事業を企画し実施する。 【周辺自治区】 各自治区の特色を活かした滞在型体験事業メニューを考案する。					

※1「交流人口」 観光者等の一時的・短期的な滞在人口。

主要事業②

事業名	定住相談事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	U・Iターン希望者に対し、住居、雇用等に関する情報の提供と相談窓口を一本化し、総合的な相談を受ける。					
見込まれる効果	各分野の定住関連施策を一括して伝えることにより、移住希望者の情報収集にかかる負担の軽減が図られ、定住促進が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	3,793	3,793	3,793	3,793	3,793	18,965
国県補助事業の 名称、補助率等	市町村定住支援体制強化交付金					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の定住施策を把握し、U・Iターン希望者への情報発信と相談受付を行う。 【周辺自治区】 自治区内の定住施策の情報を収集し、浜田自治区への情報提供と相談受付を行う。					

主要事業③

事業名	定住促進住宅建築費等補助事業			実施自治区	浜田自治区、 弥栄自治区、三隅自治区	
事業概要	U・Iターンの促進と圏域外への人口流出防止を図るため、弥栄自治区、三隅自治区内において住宅の新築、取得を行う者に対し、補助金を交付する。					
見込まれる効果	定住の促進はもとより、住宅建築により、弥栄自治区と三隅自治区における地域経済への波及効果が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	51,500	51,500	51,500	51,500	51,500	257,500
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 当事業の情報提供と利用を促進する。 【弥栄・三隅自治区】 住民のニーズを把握し、補助内容の充実に取り組む。					

イ 空き家の利活用

〔現状と課題〕

- 空き家バンク※1 制度により空き家情報を公開しているが、U・Iターン希望者を中心に利用ニーズが多いため、対象家屋の新規開拓が必要である。

〔具体的な取組〕

- 空き家調査を継続して実施し、圏域の空き家情報の収集と情報提供を行う。
また、圏域外在住の家屋所有者等に空き家バンク制度の周知を行うとともに、登録を促す。
- 空き家バンクに登録された住宅の改修費用やU・Iターン者の空き家取得費用を助成し、空き家の利活用を進める。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	U・Iターン情報発信事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	浜田市ホームページ等を活用し、圏域の空き家情報をはじめとしたU・Iターン関連情報を積極的に発信する。					
見込まれる効果	圏域への移住希望者の選択肢が増し、定住促進につながることが見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	3,213	3,213	3,213	3,213	3,213	16,065
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の空き家情報等を収集し、情報提供を行う。 【周辺自治区】 空き家情報の収集を行い、浜田自治区に情報提供を行う。					

主要事業②

事業名	空き家バンクを活用した住宅改修支援事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	空き家バンクに登録された住宅を対象として、空き家所有者がU・Iターン者に賃貸するための改修、U・Iターン者の空き家取得や改修費用及びケーブルテレビ加入費用の一部を補助する。					
見込まれる効果	U・Iターン希望者の空き家の取得や改修、ケーブルテレビ加入にかかる負担を軽減することにより、空き家の有効活用と定住人口の増加が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	計
	21,050	21,050	21,050	21,050	21,050	105,250
国県補助事業の名称、補助率等	—					
各自治区の役割分担	【浜田自治区】 空き家の状況把握と当事業の情報提供を行うとともに、空き家改修の補助を行う。 【周辺自治区】 当事業の情報提供を行い、利用を促進する。					

※1「空き家バンク」 移住希望者と空き家の売却希望者（または貸し出し希望者）をマッチングするシステム。

ウ 安全で安心なまちづくり

〔現状と課題〕

- 地域における防災・防犯意識の向上や自主防災組織※1の設立と活動の支援を行う必要がある。また、災害時要援護者※2への支援については、一層の充実が求められている。
- 犯罪件数は減少傾向にあるが、高齢者を狙った振込め詐欺や悪質な訪問販売、不審者による女性や子どもへの声かけ事例等は続いている。

〔具体的な取組〕

- 自助※3・共助※4・公助※5の考え方にに基づき、地域における防災意識高揚のための啓発を行うとともに、自主防災組織の設立や活動の支援を行う。
- 犯罪を未然に防止するため、警察、関係機関、住民、地域が連携した地域ぐるみの防犯体制を強化する。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	地域安全まちづくり事業		実施自治区		全自治区	
事業概要	自主防災組織の設立や活動の支援、防災資機材購入の支援、災害時要援護者支援体制の強化を図る。また、防犯組織の設立や活動の支援、防犯に配慮した環境づくりを推進する。					
見込まれる効果	地域住民の防災・防犯意識高揚と犯罪件数の減少が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	8, 735	8, 735	8, 735	8, 735	8, 735	43, 675
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の防災・防犯に関する情報の集約と情報提供を行うとともに、関係機関と連携した安全で安心なまちづくりの体制を整備する。 【周辺自治区】 危険箇所の情報を収集し、圏域における情報を共有することにより、災害や事故、犯罪等の未然の防止に取り組む。					

※1「自主防災組織」 地域住民が自主的に連帯して防災活動を行う任意団体。

※2「災害時要援護者」 必要な情報を迅速かつ的確に把握し、災害から自らを守るために安全な場所に避難する等の災害時の一連の行動をとるのに支援を要する人々をいい、一般的に高齢者、障がい者等。

※3「自助」 他人の力によらず、自分の力だけで事を成し遂げること。

※4「共助」 自分だけでは解決や行うことが困難なことについて、周囲や地域が協力して行うこと。

※5「公助」 個人や周囲、地域あるいは民間の力では解決できないことについて、公共（公的機関）が行うこと。

3 圏域マネジメント※1能力の強化に係る取組

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

〔現状と課題〕

- 圏域に居住する19ヶ国、約700人（平成22年3月末現在）の外国人が暮らしやすいまちづくりを進める必要がある。
- 個人の尊重と法の下での平等に基づく、男女平等の実現に向けた取組を進めているが、家庭や地域社会においては性別による固定的な役割分担や慣習が依然として存在し、女性の社会進出を促す条件整備が充分とは言えない。
- 家庭や地域社会、職場において、男女それぞれの人権が尊重され、その個性と能力を十分に発揮できる調和のとれた環境づくりが必要である。
- 過疎化や高齢化の進行により、地域の中心的役割を果たす人材の不足が懸念されている。

〔具体的な取組〕

- 浜田国際交流協会が行う事業を支援し、多文化共生社会の実現に向けた人材育成に取り組む。
- 住民が主体となった国際交流事業の活性化を図るため、海外友好都市と相互交流事業を行う民間団体を支援し、国際性豊かな人材育成を推進する。
- 男女共同参画社会を実現するための指針として、「浜田市男女共同参画推進計画」を改定し、男女それぞれの個性と能力を十分に発揮できる環境を整備するとともに、地域住民をはじめとしたあらゆる分野において啓発活動を推進する。
- 地域の枠組みの拡大と自治会組織の活動を支援し、次の担い手を育成する。

〔主要事業〕

主要事業①

事業名	浜田国際交流協会助成事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	浜田国際交流協会が実施する事業（各種講座等や国際交流イベントの開催等）への支援を行う。					
見込まれる効果	国籍や民族等の異なる人々が、地域社会の一員として共に生きていける人材の育成に寄与することが見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	2, 660	2, 660	2, 660	2, 660	2, 660	13, 300
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 協会イベントを企画し、実施する。 【周辺自治区】 協会イベントの住民への周知を行うとともに、参加を促進する。					

※1 「マネジメント」 経営、管理すること。

主要事業②

事業名	海外友好都市交流推進事業		実施自治区	全自治区		
事業概要	海外友好都市等との相互訪問により交流を推進する。					
見込まれる効果	国際交流の推進を通じ、圏域の将来を担う国際性豊かな人材の育成が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	3, 353	3, 353	3, 353	3, 353	3, 353	16, 765
国県補助事業の 名称、補助率等	—					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 民間の国際交流団体の活動を支援する。 【周辺自治区】 住民に対して民間の国際交流団体の活動の周知を行うとともに、参加を促す。					

主要事業③

事業名	男女共同参画推進事業			実施自治区	全自治区	
事業概要	浜田市男女共同参画推進計画に基づく各種事業（浜田女性ネットワーク等の各種団体への活動支援、講演会等の開催）を実施する。					
見込まれる効果	男女共同参画社会の形成に寄与することが見込まれる。					
事業費 （千円）	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	1, 178	1, 178	1, 178	1, 178	1, 675	6, 387
国県補助事業の 名称、補助率等	－					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 圏域の状況を把握して活動団体への支援を行うとともに、連携を図って住民への啓発活動を行う。 【周辺自治区】 地域の状況把握を行うとともに、活動団体と連携して住民への周知を行う。					

主要事業④

事業名	まちづくり総合交付金事業【新規】			実施自治区	全自治区	
事業概要	新たな住民自治組織として設立された「地区まちづくり推進委員会」等に対して総合交付金を交付し、各地域の特色を活かしたまちづくりの活性化と住民自治の推進を図る。					
見込まれる効果	住民自治意識の高揚が見込まれるとともに、地域リーダー等の育成や後継者の確保が見込まれる。					
事業費 (千円)	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	計
	129, 732	129, 732	129, 732	129, 732	129, 732	648, 660
国県補助事業の 名称、補助率等	過疎対策事業債					
各自治区の 役割分担	【浜田自治区】 当交付金事業を活用した新たなまちづくりシステム構築のための検討を行うとともに、地区まちづくり推進委員会への支援を行う。 【周辺自治区】 地区まちづくり推進委員会への支援を行う。					

【資料編】

資料 1 浜田市定住自立圏共生ビジョン事業一覧

資料 2 浜田市定住自立圏形成方針（平成 22 年 9 月 22 日策定）

資料 1 浜田市定住自立圏共生ビジョン事業一覧

(1) 生活機能の強化に係る取組

A 医療

ア 医師・医療従事者の確保

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
地域医療連携事業 (人材育成施設の整備維持)	全自治区	中山間地域包括ケア研修センターを中心とした国民健康保険診療所で実施している研修医・看護学生等の研修機能と受入体制の充実を図る。	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	7,000
地域医療連携事業 (医療に関する啓発活動)	全自治区	タウンミーティングや地域医療シンポジウム等の開催、啓発チラシの作成、配布等により、医療に関する啓発活動を行う。	200	200	200	200	200	1,000
医療情報等の配信	全自治区	医療従事者を確保するため、「赤ひげメール」、「ホームページ」、「ウェブログ」により、圏域の地域医療等の情報提供を行う。	0	0	0	0	0	0
医学生・看護学生との交流	全自治区	新規医学部入学学生の激励会、地元出身医学生・看護学生等との交流会等を実施する。	50	50	50	50	50	250
スキルアップ・ラボ事業	全自治区	圏域で復職を希望する看護師や新任看護師等への実技指導、再就職支援相談等を浜田医療センターへ委託して行う。	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
浜田准看護学生支援事業	全自治区	浜田准看護学生への奨学金支給と実習費の補助を行う。	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	14,500
リハビリテーションカレッジ島根支援事業	全自治区	リハビリテーションカレッジ島根修学に対する資金貸付けと入学金を助成し、入学者の増加を図る。	12,000	16,000	16,000	16,000	0	60,000
医学生・研修医等の受入れ	全自治区	医師会、中核病院、国民健康保険診療所で、医学生・研修医等の受入れを行う。	0	0	0	0	0	0

イ 地域医療ネットワークの充実

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
地域医療連携事業 (地域医療ネットワーク)	全自治区	医師会、浜田医療センター、国民健康保険診療所の医師が相互に連携した紹介体制を構築し、圏域に不足している専門診療を補完する。	360	360	360	360	360	1,800
地域医療連携事業 (医療に関する啓発活動)【再掲】	全自治区	タウンミーティングや地域医療シンポジウム等の開催、啓発チラシの作成、配布等により、医療に関する啓発活動を行う。	200	200	200	200	200	1,000

ウ 救急医療体制の充実

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
休日応急診療所の機能強化	全自治区	医療機器を整備する等の医療体制と機能の強化を図る。	5,584	3,000	3,000	3,000	3,000	17,584
休日診療在宅当番医制度	全自治区	休日診療体制を確保するため、那賀郡医師会に委託し、在宅当番医による初期救急医療サービスを提供する。	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	13,750

エ ヘき地医療確保体制の充実

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
中山間地域の医療連携	全自治区	民間医療機関と国民健康保険診療所が安定した初期医療サービスを提供するため、国民健康保険診療所の医師が各診療所へ交替で勤務するとともに、浜田医療センター総合診療科の外来の一部を担当する。	0	0	0	0	0	0
医療用機器の計画的更新と活用	浜田自治区 金城自治区 旭自治区 弥栄自治区	国民健康保険診療所の医療機器を計画的に更新する。	6,028	17,000	10,265	16,778	40,561	90,632

B 福祉

ア 子育て環境の整備

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
子育て支援センター事業	全自治区	子どもの育ちや親への子育て支援に関する相談事業、交流事業、健康講座、食育講座、ボランティア活動推進、玩具・絵本の貸し出し、他団体への支援、情報提供を行う。	2,141	2,141	2,141	2,141	2,141	10,705
乳幼児等健康診査事業	全自治区	乳児・1歳6か月児・3歳児健診を行い、疾病の早期発見や心身の発達・養育相談等に応じる。(5歳児健診は金城自治区のみ実施)	10,418	10,418	10,418	10,418	10,418	52,090
安心お産応援事業	全自治区	妊婦健康診査の公費負担の拡充、一般不妊治療費の助成、ママパパ学級の開催、お産応援システム体制の周知、支援を行う。	51,859	51,859	51,859	51,859	51,859	259,295
放課後児童クラブ設置事業	全自治区	保護者の就労支援として、児童(小学校1～3年生)を対象にした放課後児童クラブを設置、運営する。	108,730	108,730	108,730	108,730	108,730	543,650
次世代育成支援事業	全自治区	次世代育成支援計画に基づき、少子化対策・子育て支援事業(保育事業、子育て支援拠点事業、健康支援事業、虐待予防事業、相談事業等)を行う。	19,007	19,007	19,007	19,007	19,007	95,035

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
介護予防事業	全自治区	要介護状態になることを防止するため、予防や悪化防止のプログラムを実施する。	61,625	62,000	62,000	62,000	62,000	309,625
地域包括支援センター運営事業	全自治区	地域包括支援センターを運営し、地域住民が住み慣れた地域で安心して生活することができるように包括的で継続的な支援を行う。	53,292	54,000	54,000	54,000	54,000	269,292
障害者相談支援事業	全自治区	浜田自治区にある障がい者の相談支援機関等を中心として、障がいのある人、その保護者、介護者等からの相談内容に応じた情報提供や権利擁護のための援助を行う。	19,829	19,829	19,829	19,829	19,829	99,145

C 教育

ア 読書活動の強化

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
図書館ネットワークシステム管理事業	全自治区	図書館ネットワークシステムを利用し、スムーズな蔵書の検索、予約のための管理、運営を行う。	4,417	5,082	10,755	10,755	10,755	41,764
中央図書館整備事業	全自治区	現浜田図書館を新たに中央図書館として整備し、周辺自治区の図書館(室)との連携の強化を図る。	451,780	772,406	582,000	0	0	1,806,186
移動図書館車配本事業	全自治区	図書館の利用が困難な地域をラブック号で巡回し、図書の貸出しを行う。	1,902	1,747	1,747	1,747	1,747	8,890
学校図書館充実事業	全自治区	学校図書館に司書・図書館ボランティアを配置する。また、全体を統括する学校図書館支援センターを中心に、児童・生徒の読書活動の推進を図る。	18,897	18,897	18,897	18,897	18,897	94,485

D 産業振興

ア 観光振興

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
石見神楽振興事業	全自治区	重要な観光資源である石見神楽に関西・山陽地域で上演し、新たなファンの獲得を図る。また、圏域において夜神楽上演を一定期間開催し、宿泊客の集客を図る。	5,229	4,400	4,400	4,400	4,400	22,829
石見神楽関連商品開発事業 (ふるさと雇用再生事業)	全自治区	浜田市観光協会と連携し、地域の伝統芸能である石見神楽に関連する商品開発等に取り組むとともに、その営業収益により同協会内に雇用の場を確保し、石見神楽伝承基金の創出を目指す。	13,143	5,000	5,000	5,000	5,000	33,143
石見神楽と和紙の里魅力発信事業	全自治区	古事記 1300 年記念事業に伴い、神楽社中における石州和紙の活用を促進するとともに、石見神楽と石州和紙の物語を大切に情報発信を行い、観光客の誘致を目指す。	800	800	800	800	800	4,000
古事記編纂 1300 年記念プロジェクト【新規】	全自治区	平成 24 年の「古事記編纂 1300 年」を機に、古事記・日本書記・万葉集等に描かれ、受け継がれてきた歴史文化に彩られた「島根」の魅力を県、市町村、民間団体等が一体となって広報宣伝や企画し、事業を展開する。	1,517	1,517	1,517	0	0	4,551
魅力の旅探求事業	全自治区	広島県や島根県を中心に、新聞や広告媒体等を活用して観光情報を発信するとともに、大阪市の観光関連専門学校の授業に圏域のツーリズムをテーマにしたカリキュラムを組み込み、現地視察等の具体的なツアーの企画とその成果を基にした商品化を支援する。	2,754	2,600	2,600	2,600	2,600	13,154
自然体験型観光推進事業	全自治区	自然体験型観光の受入れ体制の強化と広報活動を展開する。また、各種団体へ事業補助を行い、山・海を活用した幅広い観光プランを作成し、教育旅行や体験型観光旅行等の誘客を図る。	638	630	630	630	630	3,158
感動を呼ぶツーリズム創造事業(ふるさと雇用再生事業)	全自治区	圏域のツーリズムを感動産業に昇華させるため、ツーリズム協議会に専任の職員を配置して新たな事業展開を目指す。	6,262	3,000	3,000	3,000	3,000	18,262
合宿誘致事業【新規】	全自治区	圏域のスポーツ施設、ツーリズム体験、歴史・文化資産、娯楽施設等を有効に活用して、特に広島市等の都市部を中心に合宿や教育旅行の誘致を図る。また、合宿関連施設や交流施設として廃校の利活用を推進する。	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	20,000
浜田の五地想ものがたり推進事業	全自治区	圏域のご当地グルメや郷土料理を提供できる受け皿を整備し、観光客の誘致を図る。	2,046	2,000	1,000	1,000	1,000	7,046

イ 地域ブランド化

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
水産物ブランド化事業	全自治区	「どんちっち」ブランドの推進による浜田産魚の知名度向上と安全で安心な水産物の提供の支援に取り組み、新たなブランド開発を行う。	3,157	3,500	3,500	3,500	3,500	17,157
周布川水系魚族増殖事業	浜田自治区 金城自治区	アユ、うなぎ、山女等の稚蟹及び稚魚の放流事業に対する助成を行う。	180	180	180	180	180	900
八戸川水系魚族増殖事業	浜田自治区 金城自治区 旭自治区	アユ、うなぎ、山女等稚魚放流事業に対する助成を行う。(金城自治区) 漁場の監視と河川清掃整備体制の強化に対する助成を行う。(旭自治区)	280	280	280	280	280	1,400
漁業振興対策補助事業	浜田自治区 三隅自治区	水産資源の増殖を図る活動への助成を行う。	1,900	1,900	1,900	1,900	1,900	9,500
三隅川漁業環境整備事業	浜田自治区 三隅自治区	三隅川流域の魚場環境を整備することにより、アユ等の保護増殖を図り、住民の河川美化意識の向上を図る。	481	481	471	471	462	2,366

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
水田利活用自給力向上事業	全自治区	自給力の向上を図るため、水田を有効活用した、麦、大豆、米粉用米、飼料用米等の戦略作物の生産を行う販売農家に対し、主食用米並の所得を確保し得る水準と同等の交付金を支給する。	未定	未定	未定	未定	未定	未定
耕作放棄地再生利活用推進事業	全自治区	施設等の補完整備事業として、用排水施設、農道、市民農園、農業用機械の整備を行う。	5,000	5,000	5,000	0	0	15,000
がんばる地域応援総合事業	全自治区	地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組を支援する。	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	85,000
林業推進事業	全自治区	森林所有者が行う造林や森林の保育に要する費用を補助し、林業関係の各種団体に間伐や間伐材の促進、間伐材を利用した商品開発を支援する。	12,570	12,570	12,570	12,570	12,570	62,850
生産拡大緊急対策出荷奨励事業	全自治区	いわみ中央農業協同組合が運営する「産直きんさい市場」に農林産物を出荷する者やJAに対し、その生産、出荷、集荷に関する経費の一部を助成する。	6,300	0	0	0	0	6,300
米の品質向上・安全・安心対策事業	全自治区	米の色彩選別機等の利用料金を助成する。	2,310	2,310	0	0	0	4,620
森づくり・資源活用実践事業	全自治区	林業・漁業関係者等との協働による植林活動に取り組むとともに、住民参加による森林整備を進める。また、地元産木材を活用した児童用机天板等を導入する。	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る取組

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
(仮称) 地域公共交通計画策定事業【新規】	全自治区	より効率的な公共交通の運行を図り、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、公共交通の総合的な見直しを行い、(仮称) 地域公共交通計画を策定する。	6,553	0	0	0	0	6,553
新交通システム運営事業(デマンドタクシー、自治会輸送)	浜田自治区 金城自治区 旭自治区 弥栄自治区	公共交通空白地域における高齢者等の生活交通手段を確保するため、デマンドタクシーの運行や自治会輸送活動への支援を行う。	28,888	28,988	28,888	28,988	28,888	144,640
生活路線バス運行事業(路線バス廃止対策事業を含む)	全自治区	生活交通の確保と公共交通の充実のため、市営バスを運行する。	52,594	71,894	71,894	62,594	52,594	311,570
路線バス利用促進事業	全自治区	生活交通路線バスの運行に係る経常欠損額等を民間バス事業者に補助する。	95,045	95,045	95,045	95,045	95,045	475,225

B デジタル・ディバイドの解消に向けた ICT インフラ整備

ア 携帯電話不感地域の解消

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					計
			H23	H24	H25	H26	H27	
移動通信用鉄塔整備事業	全自治区	携帯電話不感地域の調査や地域要望を取りまとめ、移動通信用鉄塔施設を整備する。 (鉄塔整備予定) 平成 23 年度 三隅自治区 井川地区：鉄塔 1 基	50,000	0	0	0	0	50,000

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
櫛田原(西・東)農道整備事業	浜田自治区	櫛田原地区の市道は幅員狭小で屈曲しており、整備予定の櫛田原地区県営農道と市道櫛田原中央線を接続する東西2ルートの新設整備する。 【西農道 L=200m、東農道 L=340m、W=4.0m】	6,000	8,000	8,000	8,000	6,000	36,000
今福有福線道路改良工事	浜田自治区 金城自治区	主要地方道田所国府線と那賀東部広域農道を接続する生活道路で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。【L=2,000m、W=4.0m】	0	0	0	20,000	30,000	50,000
沢津線改良事業	浜田自治区 金城自治区	幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=2,300m、W=5.0m】	0	0	30,000	50,000	80,000	160,000
柏尾谷線改良事業	浜田自治区 旭自治区	幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=2,280m、W=7.0m】	100,000	100,000	100,000	0	0	300,000
戸地線改良事業	浜田自治区 旭自治区	改良済み区間(重富地区)と改良中の市道柏尾谷線を接続する路線で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=1,400m、W=7.0m】	0	0	10,000	30,000	100,000	140,000
谷線道路改良事業	浜田自治区 弥栄自治区	那賀西部広域農道から県道黒沢安城浜田線までの区間は、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=2,500m、W=5.0m】	10,000	25,000	25,000	25,000	0	85,000
白砂小学校線道路改良事業	浜田自治区 三隅自治区	室谷農免農道から白砂公民館までのアクセス道路で、幅員は狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、自治区間を円滑につなぐための道路改良を行う。 【L=600m、W=5.0m】	0	20,000	50,000	50,000	60,000	180,000
白砂今浦線道路新設事業	浜田自治区 三隅自治区	現在の今浦集落から国道9号までのアクセス道路の幅員は、狭小で急カーブが多く、地域住民や車両の通行に支障をきたしており、当集落から国道9号までの最短アクセス道として新設整備する。【L=900m、W=6.0m】	50,000	50,000	50,000	67,970	0	217,970

イ 冬の安全道対策

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
除雪車購入事業	浜田自治区 旭自治区 弥栄自治区	住民要望による除雪路線の増加に対処するため、除雪機械の保有台数を増やし、豪雪時にも対応できる機動力を確保する。	9,000	0	15,000	15,000	0	39,000
除雪事業	全自治区	冬期の積雪や路面凍結は、日常生活の大きな障害になっており、通勤・通学・産業活動等に与える影響は極めて大きい。迅速かつ効率的な除雪を行い、冬期の安全対策を図る。	50,000	50,000	50,000	50,000	50,000	250,000

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)					
			H23	H24	H25	H26	H27	計
浜田の五地想ものがたり推進事業【再掲】	全自治区	圏域のご当地グルメや郷土料理を提供できる受け皿を整備し、観光客の誘致を図る。	2,046	2,000	1,000	1,000	1,000	7,046

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)				
			H23	H24	H25	H26	H27 計
生産拡大緊急対策出荷奨励事業【再掲】	全自治区	いわみ中央農業協同組合が運営する「産直きんさい市場」に農林産物を出荷する者やJAに対し、その生産、出荷、集荷に関する経費の一部を助成する。	6,300	0	0	0	0 6,300
地産地消推進事業	全自治区	学校給食で地元特産果樹を提供することで地産地消を図るとともに、はまだ食の大使『三國清三シェフ』による地産地消レシピ親子教室等、地産地消に係る商品開発や地元商品のPRを行う。	2,597	2,597	2,000	2,000	2,000 11,194
がんばる地域応援総合事業【再掲】	全自治区	地域が主体となって行う戦略的で多彩な取組を支援する。	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000 85,000

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)				
			H23	H24	H25	H26	H27 計
はまだ暮らし体験事業	全自治区	圏域への移住を考えているU・Iターン希望者を対象に、お試し住宅等の短期間の滞在型体験事業に取り組む。	3,155	3,155	3,155	3,155	3,155 15,775
定住相談事業	全自治区	U・Iターン希望者に対し、住居、雇用等に関する情報の提供と相談窓口を一本化し、総合的な相談を受ける。	3,793	3,793	3,793	3,793	3,793 18,965
定住促進住宅建築費等補助事業	浜田自治区 弥栄自治区 三隅自治区	U・Iターンの促進と圏域外への人口流出防止を図るため、弥栄自治区、三隅自治区内において住宅の新築、取得を行う者に対し、補助金を交付する。	51,500	51,500	51,500	51,500	51,500 257,500

イ 空き家の利活用

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)				
			H23	H24	H25	H26	H27 計
U・Iターン情報発信事業	全自治区	浜田市ホームページ等を活用し、圏域の空き家情報をはじめとしたU・Iターン関連情報を積極的に発信する。	3,213	3,213	3,213	3,213	3,213 16,065
空き家バンクを活用した住宅改修支援事業	全自治区	空き家バンクに登録された住宅を対象として、空き家所有者がU・Iターン者に賃貸するための改修、U・Iターン者の空き家取得や改修費用及びケーブルテレビ加入費用の一部を補助する。	21,050	21,050	21,050	21,050	21,050 105,250

ウ 安全で安心なまちづくり

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)				
			H23	H24	H25	H26	H27 計
地域安全まちづくり事業	全自治区	自主防災組織の設立や活動の支援、防災資機材購入の支援、災害時要援護者支援体制の強化を図る。また、防犯組織の設立や活動の支援、防犯に配慮した環境づくりを推進する。	8,735	8,735	8,735	8,735	8,735 43,675

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

事業名	実施自治区	事業概要	事業費 (単位:千円)				
			H23	H24	H25	H26	H27 計
浜田国際交流協会助成事業	全自治区	浜田国際交流協会が実施する事業(各種講座等や国際交流イベントの開催等)への支援を行う。	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660 13,300
海外友好都市交流推進事業	全自治区	海外友好都市等との相互訪問により交流を推進する。	3,353	3,353	3,353	3,353	3,353 16,765
男女共同参画推進事業	全自治区	浜田市男女共同参画推進計画に基づく各種事業(浜田女性ネットワーク等の各種団体への活動支援、講演会等の開催)を実施する。	1,178	1,178	1,178	1,178	1,675 6,387
まちづくり総合交付金事業【新規】	全自治区	新たな住民自治組織として設立された「地区まちづくり推進委員会」等に対して総合交付金を交付し、各地域の特色を活かしたまちづくりの活性化と住民自治の推進を図る。	129,732	129,732	129,732	129,732	129,732 648,660

資料 2

浜田市定住自立圏形成方針

浜田市は、平成 17 年 10 月 1 日に旧浜田市、旧金城町、旧旭町、旧弥栄村及び旧三隅町の 1 市 3 町 1 村が合併し、「浜田那賀方式自治区制度」により 5 つの自治区で一つの圏域を成しており、旧浜田市の浜田地域（以下「浜田自治区」という。）と、旧那賀郡の金城地域（以下「金城自治区」という。）、旭地域（以下「旭自治区」という。）、弥栄地域（以下「弥栄自治区」という。）及び三隅地域（以下「三隅自治区」という。）で形成する「浜田市定住自立圏」に関し、次の方針を策定する。

（目的）

第 1 条 この方針は、中心市宣言（定住自立圏構想推進要綱（平成 20 年 12 月 26 日総行応第 39 号総務事務次官通知）第 4 の規定によるものをいう。）を行った浜田市において、浜田自治区と旧那賀郡の各自治区が相互に機能・役割分担し、連携する取組を積極的に推進することにより、圏域全体の活性化を図り、もって魅力ある定住自立圏を形成することを目的とする。

（基本方針）

第 2 条 浜田市は、前条に規定する目的の達成のために定住自立圏を形成し、次条に規定する分野の取組において中心地域としての浜田自治区と周辺地域としての旧那賀郡の各自治区が相互に機能・役割分担して連携を図り、共同し、または補完し合うこととする。

（連携する具体的事項）

第 3 条 前条の基本方針に従い取り組む分野は、次の各号に掲げるものとし、その取組の内容並びに当該取組における浜田自治区及び旧那賀郡の各自治区の役割は、それぞれ当該各号に規定するものとする。

（1）生活機能の強化に係る取組

A 医療

ア 医師・医療従事者の確保

①取組の内容

国保診療所の医師を中心として関係機関と連携し、医師・医療従事者の圏域外への流出の防止、圏域内への招へい、将来の地域医療を担う人材の育成に取り組むことにより、医師・医療従事者の確保を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 中核病院と周辺の医療機関等との連携や医療に対する住民理解を深めるための啓発活動を実施する。
- (b) 圏域の医療情報を提供し、地域医療に関心がある医師・医療従事者の確保に取り組む。
- (c) 一度現場を離れた看護師の職場復帰を支援し、医療従事者の確保を図る。

③金城自治区・旭自治区の役割

- (a) 医師・医療従事者の確保に係る諸事業が多くの人に利用されるように周知を行う。
- (b) 国保診療所での研修医等を受け入れ、医師・医療従事者の確保を図る。

④弥栄自治区の役割

- (a) 医師・医療従事者の確保に係る諸事業が多くの人に利用されるように周知を行う。
- (b) 中山間地域包括ケア研修センターでの研修医等を受け入れ、医師・医療従事者の確保を図る。

⑤三隅自治区の役割

- (a) 医師・医療従事者の確保に係る諸事業が多くの人に利用されるように周知を行う。

イ 地域医療ネットワークの充実

①取組の内容

中核的な医療機能を有する浜田医療センターと、周辺地域の病院・診療所との連携を強化し、圏域内で受診から治療までが完結する地域医療体制の充実を図る。

また、住民が「かかりつけ医」と「中核病院」の適切な利用について理解を深めることができるよう啓発活動を実施する。

②浜田自治区の役割

(a) 浜田医療センター内の地域医療連携室を中心として、圏域内における受診から治療完了までの完結率の向上と、ITを活用した医療情報のシステム化・ネットワーク化を図るための支援を行う。

(b) 浜田医療センターにおける中核病院としての機能を強化し、高度医療を提供するための支援を行う。

(c) 「かかりつけ医」と「中核病院」が適切に利用されるよう啓発する。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) それぞれの医療機関が、地域での「かかりつけ医」としての役割を果たし、高度な検査や治療が必要になった場合は、中核病院（浜田医療センター）へ円滑に紹介できる体制を構築する。

(b) 「かかりつけ医」と「中核病院」が適切に利用されるよう啓発する。

ウ 救急医療体制の充実

①取組の内容

圏域の病院・診療所が一次救急医療を提供し、休日においては休日診療所と在宅当番医体制により軽症患者を引き受ける体制を充実とともに、救命救急センター指定病院である浜田医療センターへの軽症患者の搬送の増加を抑制し、救急患者の迅速な搬送や救命率の向上を図る。

②浜田自治区の役割

(a) 救命救急センター指定病院である浜田医療センターに対して、救急搬送による患者を常時受け付けられる機能を維持するための必要な支援を行う。

(b) 休日については、休日応急診療所により軽症患者に必要な医療を提供する。

(c) 救急車の適切な利用がされるよう啓発する。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) 各地域の病院、診療所が、かかりつけ医として、一次救急医療を提供する。

(b) 在宅当番医制により、休日時の必要な医療を提供する。

(c) 救急車の適切な利用がされるよう啓発する。

エ へき地医療確保体制の充実

①取組の内容

出張所を含めた市内の5か所の国保診療所の「診療所連合体」を中心に、医療現場と行政が連携して、へき地医療提供体制の充実を図る。

また、へき地医療と住民の健康管理の一体的な取組体制を整える。

②浜田自治区の役割

(a) 定期的な診療所連合体の会議により、それぞれの地域の現状を把握し、地域に合ったへき地医療提供体制を整える。

(b) 身近なところで専門診療が受診できる体制整備を図るため、地域医療支援病院である浜田医療センター等に必要な支援を行う。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区の役割

- (a) それぞれの地域の住民に対するきめ細かな健康づくり活動と医療の確保を行う。
- (b) 国保診療所の連携により、土曜日診療等、将来にわたり安定した一次医療を提供する。

④三隅自治区の役割

- (a) 住民に対するきめ細かな健康づくり活動と医療の確保を行う。

B 福祉**ア 子育て支援環境の整備**

①取組の内容

「子どもが笑顔いっぱい暮らせるまち ～安心・ゆとり・ぬくもりの子育てができるまちづくり～」を基本理念とした浜田市次世代育成支援計画に基づき、次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境を整備するため、圏域全体での子育て、仕事と生活の調和の実現、子どもにとって安全で安心なまちづくりを推進する。

②浜田自治区の役割

- (a) 地域における子育て支援ネットワークを強化し、子育て情報や身近な交流の場の提供、お互いの顔が見える関係づくりを推進する。
- (b) 通常保育のほか、多様化する就労形態や保護者の社会参加等のニーズに対応できるよう、各種の保育サービスの充実を図る。
- (c) 子育てに関する悩みや不安の解消のため、保健師、保育士、助産師、栄養士等による専門的な相談体制や情報提供体制の充実を図る。
- (d) 仕事と子育ての両立のため、家族や地域、企業や行政が連携して、子育て家庭を支援する体制・環境づくりを推進する。
- (e) 子どもを犯罪被害等から守るため、学校、地域、関係機関等が連携し、見守り体制の整備を推進する。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 浜田市次世代育成支援計画に基づき、各自治区の地域性や特性、これまでの経過を踏まえた取組を推進する。

イ 高齢者・障がい者福祉サービスの充実

①取組の内容

介護保険事業計画、浜田市高齢者福祉計画及び浜田市障害者計画・障害福祉計画に基づき、高齢者・障がい者のニーズに対応した福祉サービスの充実と支援体制の整備を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 浜田市地域包括支援センターを中心として、高齢者福祉サービスに関する総合相談や予防支援、権利擁護、虐待防止の体制を整備する。
- (b) 障がい者が抱える多様なニーズに対応するため、保健・医療・福祉・教育・就労等の多分野・多職種による支援体制やネットワークの構築を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 地域の住民と浜田市地域包括支援センターをつなぐ窓口として、地域包括支援センターとの連携を密にするとともに地域の住民とのネットワークの構築を図る。
- (b) 障がい者が地域で安心して暮らしていくために、一人ひとりのニーズにあったサービスを提供できる体制づくりの構築を図る。

C 教育

ア 読書活動の強化

①取組の内容

図書館ネットワークシステムや移動図書館 LOVE BOOK（ラブブック）号の利用促進、学校図書館の効果的な運営体制の構築により、子どもをはじめとした市民の読書活動の推進を図る。

②浜田自治区の役割

(a) 図書館ネットワークシステムを周知し、利用者の利便性を向上させることで市民の読書活動の推進を図る。

(b) ホームページで各種の情報提供を行うとともに、調べ学習の図書資料の提供、学校図書館にない本の提供等、学校と連携しながら子ども達の読書活動の推進を図る。

(c) 学校司書等関係者に対する研修の実施や、学校図書館の環境整備、ブックトークや図書イベント等を開催し、子どもの本に対する興味関心を促し、読書活動の推進を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) 圏域内の図書館ネットワークシステムの導入により、効率的な図書館運営と細やかで均一な図書サービスの提供を行う。

(b) 図書ニーズを把握し、図書の充実を図る。

D 産業振興

ア 観光振興

①取組の内容

圏域に残っている海と山の豊富な地域資源を活用した多様なツーリズムや食の魅力の開発に取り組むとともに、伝統芸能石見神楽の観覧環境の整備や関連商品の開発、さらには都市部への積極的な情報発信を行い、滞在型観光メニューにより誘客を図る。

②浜田自治区の役割

(a) 郷土芸能である石見神楽の定期上演や夜神楽ツアーの企画、神楽関連商品の開発等、集客力のある石見神楽を積極的に活用することで、地域の魅力アップと併せて石見神楽団体の育成及び関連産業の振興を図る。

(b) 「浜田の五地想ものがたり推進事業」でご当地グルメや地産地消メニューを掘り起こし、島根県立しまね海洋館アクアスや温泉等の観光資源と魅力的な「食」との相乗効果により、滞在型観光の推進を図る。

③金城自治区の役割

(a) 美又温泉をはじめとする金城三泉、リフレパークきんたの里、かなぎウエスタンライディングパーク、緑の里地域振興施設等の観光資源を活用した個性的な交流機能や農林業をはじめとする地域産業の振興、郷土の先人「島村抱月」や「能海寛」等を輩出した地域文化を創造するとともに、恵まれた自然環境・地理的条件を活かした交流型中山間地域の形成を図る。

④旭自治区の役割

(a) 豊かな自然の特性を活かした赤梨や桃をはじめとする農産物、棚田百選の都川に代表される美しい農村景観、アサヒテングストンスキー場、森林研修センター、ログハウスのグリーンヴィレッジ、柔らか湯で有名な旭温泉等、滞在型観光拠点の集積を踏まえ、中国横断自動車道広島浜田線を活用した山陽からの玄関口として、交流型農村地域の形成を図る。

⑤弥栄自治区の役割

(a) ふるさと体験村を拠点とし、西陣織りの渡文、産直グループ、民泊施設等の地域の活動

グループと連携して都市交流事業等に取り組み、交流型農村地域の形成を図る。

⑥三隅自治区の役割

- (a) 国の重要無形文化財として指定されている「石州半紙」の手漉き体験や、自作和紙を使った照明・付け染め・うちわ等の製作ができる伝統産業体験ツアー、大麻山や室谷棚田の散策・地域の食材で作られる棚田御膳を堪能する里山散策ツアー、三隅梅林公園・国の天然記念物として指定されている大平桜・三隅公園のつつじ等、季節の花々と石正美術館を巡る鑑賞ツアーの普及等、地域に残された観光資源を見直し、豊かな四季の彩りや伝統文化を活かした四季体験型観光地域の形成を図る。

イ 地域ブランド化

①取組の内容

圏域の水産物や農産物等の振興作物の産地化及びブランド化による高付加価値化、試験研究機関や技術指導機関との連携強化により、圏域の地形や気象条件を活かした特産作物の生産を推進し、地域イメージの向上や産地ブランドの形成を目指す。

②浜田自治区の役割

- (a) 浜田漁港で水揚げされる魚の付加価値向上のため、「どんちっち三魚」（「どんちっちアジ」、「どんちっちノドグロ」、「どんちっちカレイ」）をはじめとして、水産物ブランド化の更なる推進を図る。
- (b) 圏域の特色を活かした米の栽培方針を構築し、生産の強化を図るとともに、販売体制の強化のため販売戦略会議の開催や県内外への商品の周知を行う。

③金城自治区の役割

- (a) 新開団地を拠点とし、ピオーネ（ぶどう）の生産拡大を図るとともに、関係機関との連携により新商品の開発を図る。
- (b) 周布川・八戸川水系にアユ等の稚魚の放流により内水面資源の確保を図る。

④旭自治区の役割

- (a) 関係機関との連携をとり、旭豊（梨）を使ったレシピの開発に取り組むとともに、消費拡大と新商品の開発を図る。

⑤弥栄自治区の役割

- (a) 「おいしい空気、おいしい水、おいしい米、そしておいしい人」と称される豊かな自然環境や構造改革特別区域の認定を受けた「どぶろく」等の地域資源を活かして、都市と農村の交流促進、特産品の開発を図る。

⑥三隅自治区の役割

- (a) 西条柿生産に係るオーナー制度の導入や栽培講座を開催することで加工品開発を進め販路拡大を図る。
- (b) 三隅川流域の漁場環境を整備し、アユ等の保存増殖を図るとともに、稚魚の放流により内水面資源の確保を図る。

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る取組

A 地域公共交通

ア 地域公共交通網の連携と生活交通の確保

①取組の内容

圏域における公共交通機関の利用実態と課題を検証し、住民、交通事業者、関係機関と市が一体的に取り組むための浜田市地域公共交通総合連携計画を策定し、圏域の実情に対応する効率的で利便性の高い地域公共交通網を整備する。

②浜田自治区の役割

- (a) 効率的で持続可能な公共交通体系の構築に向け、「浜田市地域公共交通総合連携計画」を策定する。
- (b) 地域公共交通の連携体制を確立し、地域住民のニーズに応じた利便性の高い交通網の整備を図る。
- (c) 民間バス事業者のバス路線廃止に伴う、代替交通の確保を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 民間のバス事業者では対応できない交通空白地域における予約型乗合タクシー等の効果的運行を行い、生活交通の確保を図る。
- (b) 地域公共交通の連携についての住民ニーズを把握する。
- (c) 民間バス事業者のバス路線廃止に伴う、代替交通の確保を図る。

B デジタル・ディバイドの解消に向けたICTインフラ整備

ア 携帯電話不感地域の解消

①取組の内容

携帯電話不感地域の解消を図るとともに自治区間の地域通信格差を是正し、市民の利便性の向上を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 圏域全体における携帯電話不感地域を調査・集約し、通信事業者を含む関係機関と協議のうえ、通信用鉄塔施設の早期整備を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 携帯電話不感地域の調査や地域要望をとりまとめ、情報通信格差の是正を図る。

C 道路等の交通インフラの整備

ア 生活幹線道路の整備

①取組の内容

合併により広域となった圏域における自治区間を結ぶ連絡道路として、また、災害等緊急時における市民の生命や財産を守る避難路として、生活幹線道路である市道や農林道等の整備を推進する。

②浜田自治区の役割

- (a) 国道、主要地方道、県道及び広域農道を主要幹線道路に、市道や農林道を地域に密着した生活道路に位置付け、安定した市民生活の確保や地域の産業振興を図るため、利便性の高い道路ネットワークの整備を推進する。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 主要幹線道路については、国道や県道との円滑な接続と道路機能の充実を図り、生活道路については、主要幹線道路等へ円滑に接続できるように整備する。

イ 冬期の安全道対策

①取組の内容

冬期の安全な道路交通の確保のため、各自治区の実情に応じた除雪計画による迅速な除雪作業体制の充実を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 各自治区の除雪状況を把握し、適宜、関係部署への情報伝達を行う。
- (b) 降雪時に迅速な対応ができるように除雪実施事業所との連携を強化する。
- (c) 単独の除雪が困難となった自治区に対し、他自治区からの除雪応援体制の整備を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 生活に密着した通学路等の生活路線を中心に除雪作業を実施する。
- (b) 幹線道に設置された歩道の除雪を行い歩行者等の安全確保を図る。
- (c) 除雪機械の適宜更新を図りながら除雪機械の適正配備を図る。

D 地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

ア 地産地消の推進

①取組の内容

浜田市地産地消推進条例の理念に基づき、市、生産者、事業者及び消費者が連携して農林漁業及び農林水産物に関する情報を共有化するとともに、互いの立場を理解して、相互に協力できる体制を構築し、地産地消の推進を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 産直市を核とした地産地消を図るため、出荷量や品目の増加に向けた栽培講習会を実施するとともに、商品性の向上を目指した加工表示研修会や講演会等を行う。
- (b) 履歴管理の強化を図るため、農林水産物が消費者に届けられる過程において、安全で安心な流通体制の構築を図る。
- (c) 学校や福祉施設、観光施設、外食産業等の各種団体との連携体制を構築し、地元の農林水産物の利用促進を図る。
- (d) 「食」の魅力的なまちづくりに向けた農水商工連携と地産地消の推進のため、生産者や事業者、消費者、行政等が連携した推進母体を運営する。

③金城自治区・旭自治区・三隅自治区の役割

- (a) 地産地消の推進のため、関係団体等と連携するとともに、取組について地域への情報提供を行う。

④弥栄自治区の役割

- (a) 地産地消の推進のため関係団体等と連携するとともに、取組について地域への情報提供を行う。
- (b) 有機農業の促進に積極的に取り組み、安心で安全な食材の安定供給を図る。

E 地域内外の住民との交流・移住促進

ア 定住施策の充実

①取組の内容

定住希望者への情報発信を行うとともに、「来て」「見て」「知って」「暮らして」もらうために、就業体験や生活体験、地域体験を通じ、移住の際の負担やギャップを軽減する施策を展開し、圏域への定住促進を図る。

②浜田自治区の役割

- (a) 定住希望者の新規開拓と定住に関する情報発信を行う。
- (b) 圏域への移住を具体的に考えている人に対して来訪の機会を設け、現地見学や作業体験、地元住民等との交流による地域体験事業に取り組み、定住促進を図る。
- (c) 圏域への移住希望者に対して、就業体験や生活体験と併せて、短期滞在住宅等に滞在をしてもらい、既U・Iターン者からの情報や生活関連施設の情報提供を行い、定住促進を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

- (a) 就業・住宅・生活（子育て等）関連の制度を周知し、定住を促進する。
- (b) 定住希望者を対象にした受け入れ体制の充実を図る。

イ 空き家の利活用

①取組の内容

市内に点在している空き家の調査を実施し、空き家所有者から賃貸・売買について了解を得た後、定住を希望する人へ情報を提供する。

②浜田自治区の役割

(a) 空き家調査を行い、空き家に関する所有者等の情報を収集し、ホームページ等で情報提供を行う。

(b) 空き家の購入・賃貸希望者と、所有者、宅地建物取引業者等との調整を行う。

(c) 制度について周知を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) 地域の空き家情報を随時収集し、定住希望者へ情報提供を行う。

(b) 制度について周知を図る。

ウ 安全で安心なまちづくり

①取組の内容

防災及び防犯の両面から、地域の防災・防犯組織の設立や活動の支援、地域安全マップの作成、防犯関係設備の設置等により、住民が安全で安心して暮らすことのできる地域社会の実現を図る。

②浜田自治区の役割

(a) 防災・防犯に関する圏域全体の情報の集約と情報の提供を行う。

(b) 関係機関と連携し、安全で安心なまちづくりの体制を整備する。

(c) 自主防災組織の設立を促進し、併せて活動を支援する。

(d) 防犯・防災意識の高揚や事業の普及啓発を図る。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) 自主防災組織の設立を促進し、併せて活動を支援する。

(b) 防犯・防災意識の高揚や事業の普及啓発を図る。

(c) 危険箇所の情報を収集・提供し、圏域全体で情報を共有することで災害や事故、犯罪等の未然の防止を図る。

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る取組

A 宣言中心市等における人材の育成

ア 人材の育成

①取組の内容

島根県立大学の市民講座や公開講座、住民団体やNPO主催の講座・研修等を通じて、住民との協働のまちづくりや多文化共生社会、男女共同参画社会を担う人材の育成を図るとともに指導者の養成に努める。

②浜田自治区の役割

(a) 圏域住民に対して各種の情報提供を行うとともに、大規模で高機能な収容施設を活用し、情報や場所の提供及び開催促進策を行い、研修や講座等を通じて、圏域住民の人材の育成・養成を行う。

③金城自治区・旭自治区・弥栄自治区・三隅自治区の役割

(a) 研修や講座への参加を促し、教養を高め、技術等の向上を図る。

(平成 22 年 9 月 22 日策定)



浜田市定住自立圏 共生ビジョン

発行 浜田市（平成 23 年 3 月）

編集 浜田市企画財政部 地域政策課

〒697-8501 浜田市殿町 1 番地

電話（0855）25 - 9200（直通）

FAX （0855）23 - 1866

E-mail（地域政策課代表） chiiki@city.hamada.shimane.jp

ホームページ <http://www.city.hamada.shimane.jp/>